

# 最近の経済動向

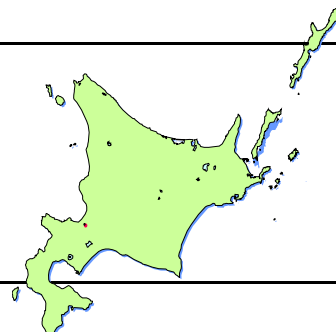
平成25年8月号

本道経済は、持ち直しの動きが続いている

## 北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



## 需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 7 ■住宅建設 ~ 持ち直しの動きが続いている

P 8 ■公共工事 ~ 増加の傾向にある

P 8 ■観光 ~ 持ち直している

## 企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を上回った

## 地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/>

## ■ 企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（7月）

---

#### 【夏のセール前倒しの影響】

例年7月に始める夏のセールを多くの百貨店が6月下旬に前倒しして開始し、7月の需要を先食いした影響などもあり、7月の売上は減少した。

特に婦人服、紳士服への影響が大きかったほか、婦人雑貨ではサンダルやバッグが不調だった。

お中元ギフト売上は、前年を上回り、ゼリー等の菓子や道産品が人気だった。

#### 【高額商品の売上は引き続き好調】

円安の影響などで外国人観光客が多いことや、株高の資産効果の影響もあるのか、婦人特選ブランドでは外国人観光客の売上と秋物プロパーのバッグ、また、高級輸入時計の売上げも引き続き好調だった。

### ◆スーパーマーケット（7月）

---

#### 【日常の消費は節約志向が続く】

7月は、好天にめぐまれ、夏日が26日間、真夏日が4日間と記録的な高温が続いたが、日常の消費は節約志向が未だ続いている。

売上高は、前年と比較して、日曜日が1日少なかったこともあり、前年に届かなかった。

また、暑さのため、火を使う調理が避けられる傾向にあった他、春先の低温などにより野菜の生育不足や生育異常もあり、野菜の売上が伸び悩んだ。

**【特別な日は豪華に】**

土用の丑の日は、国産のうなぎの構成比を上げて拡販した結果、うなぎやうなぎの売上げは、前年を上回る好調なものであった。

普段は節約志向でも、特別な日は豪華にという傾向が続いている。

**◆コンビニエンスストア（7月）** \_\_\_\_\_**【天候に左右され、一部伸び悩み】**

7月1週目～3週目は前年並みまたは前年以上の数字で好調だったが、4週目以降、昨年と比較して今年は気温が低かった関係で売り上げを取りきれなかった状況である。

地域のイベントも、前半は来場者数も好調に推移していたが、後半にかけて天候に比例して若干伸び悩んだ。

全般的に、気温商品であるアイス、水、小容量飲料水などが比較的堅調に推移した。

## ◆住宅販売（7月）

---

### 【好調な住宅販売】

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が顕著にあらわれており、今年4月から7月の売上は、前年比約20%増と好調である。

注文住宅は、9月末までの特例期間中に契約できなければ、現行税率（5%）の適用を受けられないため、7～9月期に受注のピークを迎えるが、年間施工可能棟数には限度があり、これから今年度内にお引渡しのできる受注棟数は、既に限られてきている。

### 【ローコストから質の良い住宅へ】

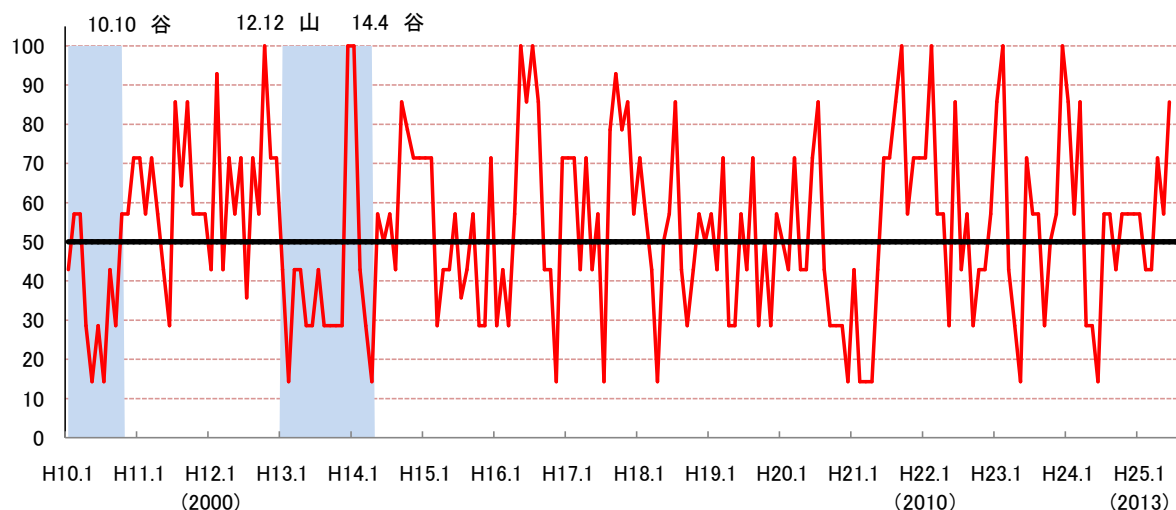
リーマンショック以降、ローコスト住宅を求めるお客様の動向が続き、年収が600万円～700万円の比較的高収入の方であっても、ローコスト住宅を求める傾向があった。

しかし、現在では、ローコストの中身を選択し、安かろうだけではなく、住宅本来の品質・アフターサービスの質を求める傾向が強くなっている。

お客様の優先順位として予算一辺倒から、高品質・環境配慮等、満足度の高い住宅を求める動向に戻りつつある。

## ■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		24/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	0
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+	+
	新設住宅着工戸数	+	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	+	-	+	+	-	+	+	-	-	-
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+	+
	拡張系列数	6	5	5	5	2.5	3.5	4.5	2	3	2	3	4	4.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	85.7	71.4	71.4	71.4	35.7	50.0	64.3	28.6	42.9	28.6	42.9	57.1	p 64.3
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	p+
	出荷指数(生産財)	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	p-
	大口電力使用量	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+	+	+
	百貨店販売額(既存店)	-	-	+	-	+	+	+	-	-	+	+	+	p+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	-	+	+	+	-	+	+	-	-	-	p+
	拡張系列数	1	4	4	3	4	4	4	4	3	3	5	4	6
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	14.3	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	71.4	57.1	p 85.7
遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	完全失業率(逆サイクル)	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	-	p+
	拡張系列数	2	2	1	3	2	3	1	2	2	1	2	2	3
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	p 75.0

(注) 1 北海道総合政策部政策局経済調査課 試算。Pは速報値(以下同様)。

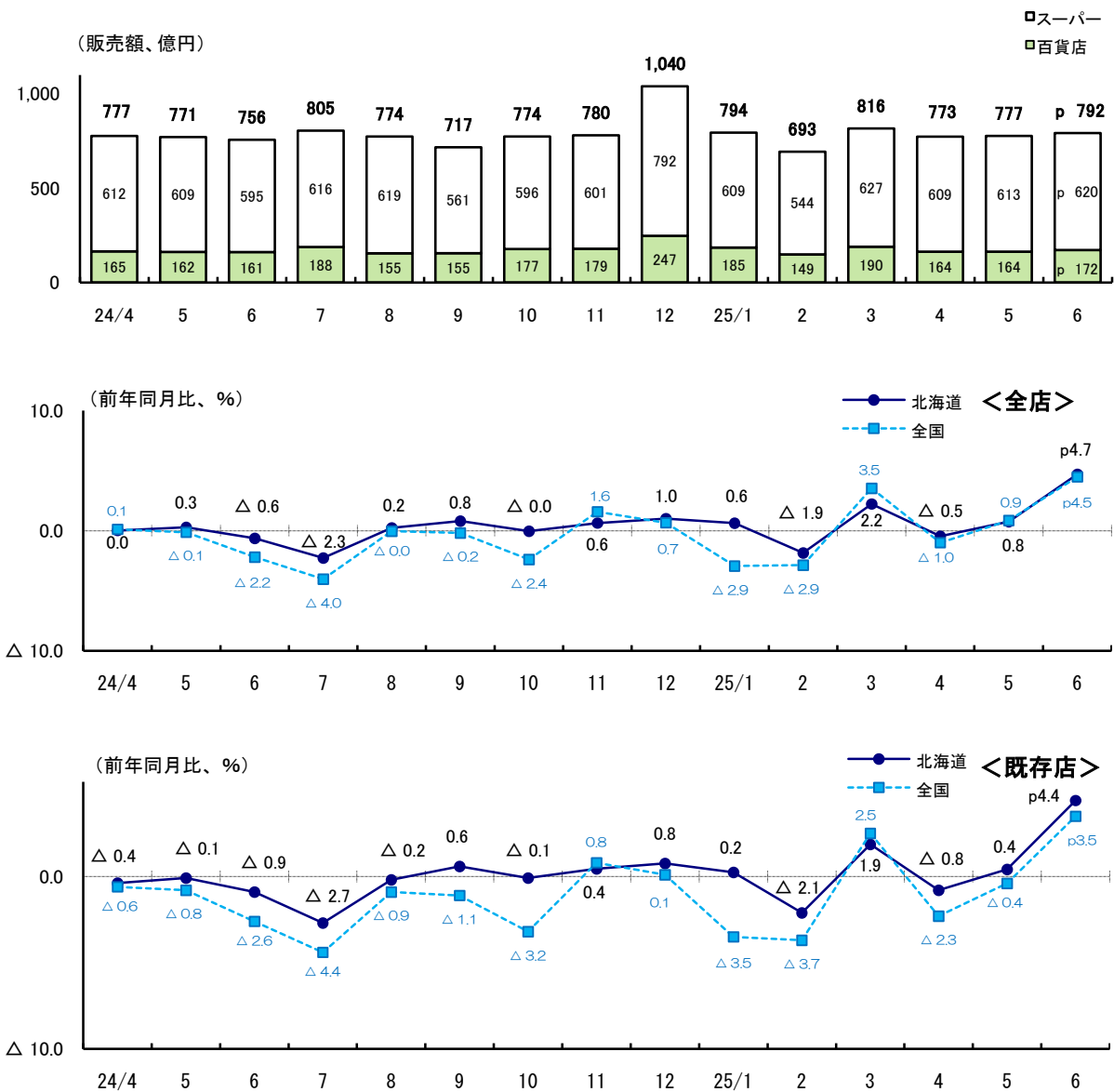
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■個人消費～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

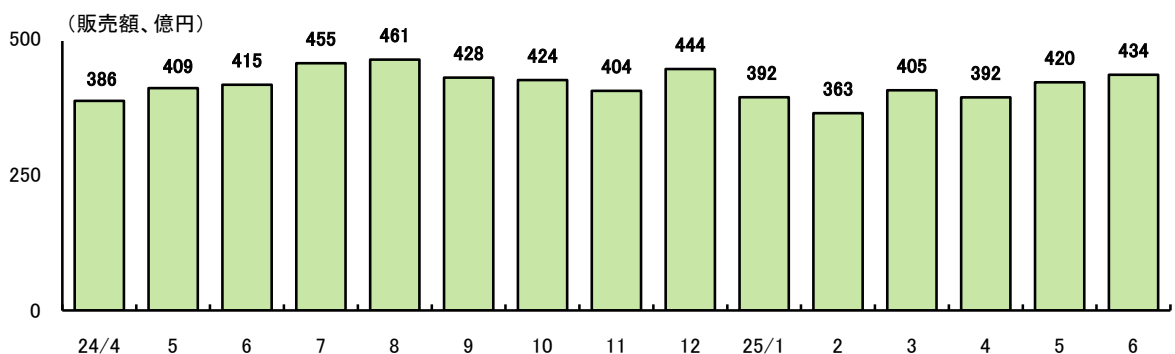
◆大型小売店販売額(6月)◆

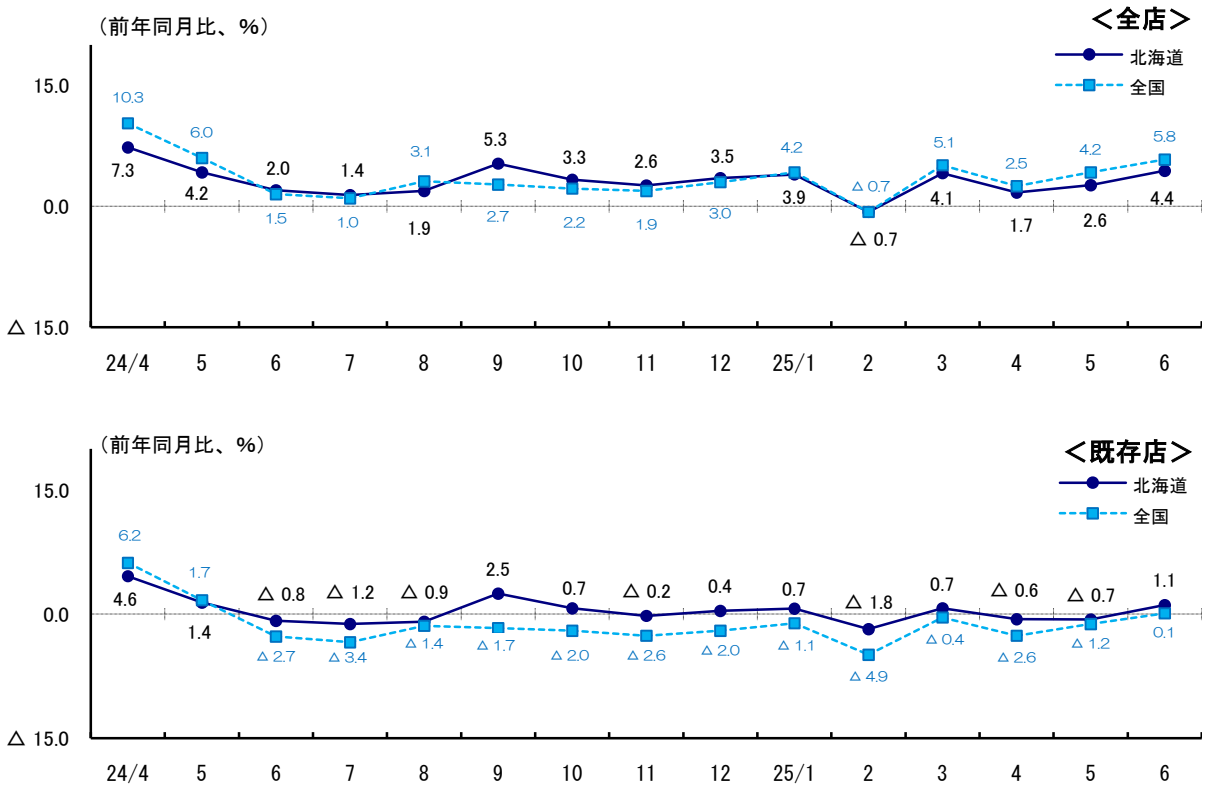
全店ベースで792億円、前年同月比4.7%増と2か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同4.4%増と2か月連続で前年を上回った。



◆コンビニエンスストア販売額(6月)◆

全店ベースで434億円、前年同月比4.4%増と4か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同1.1%増と3か月ぶりに前年を上回った。

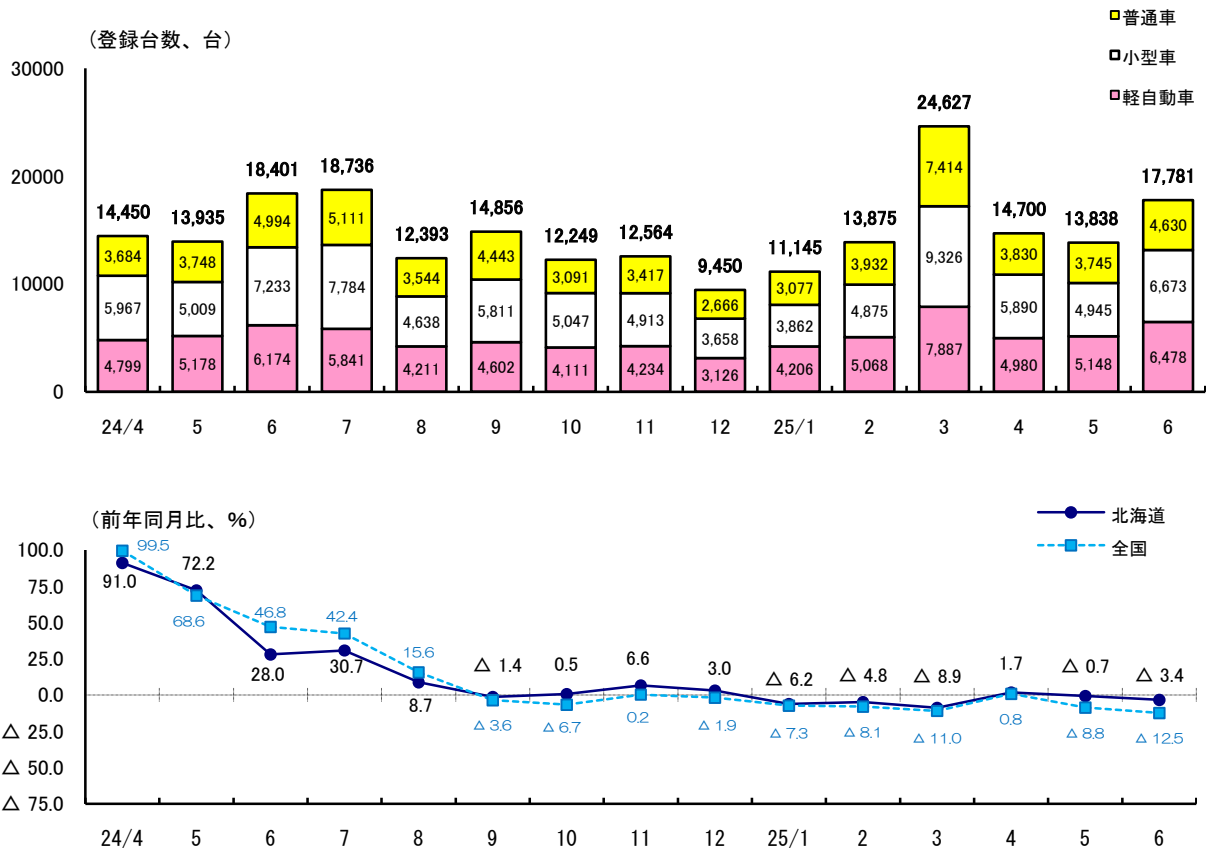




(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数(6月)◆

新車登録台数は17,781台、前年同月比3.4%減と2か月連続で前年を下回った。



(※ H23/12 エコカー補助金復活)

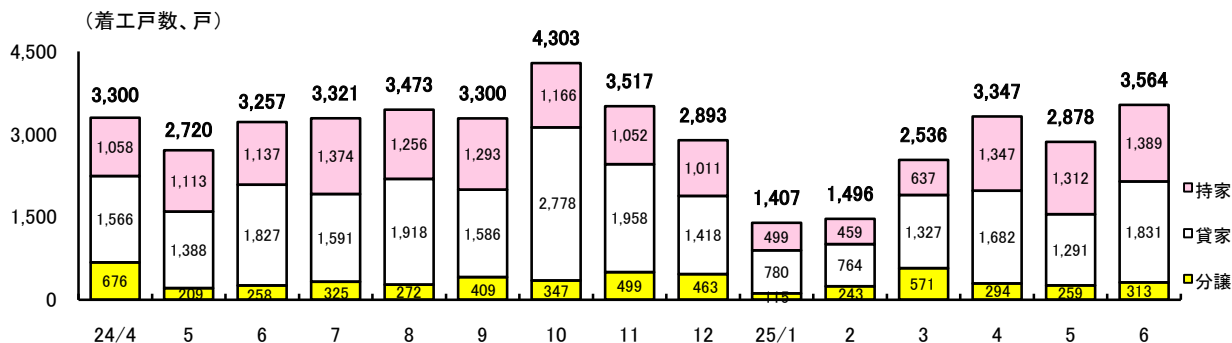
(※ H24/9 エコカー補助金終了)

(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

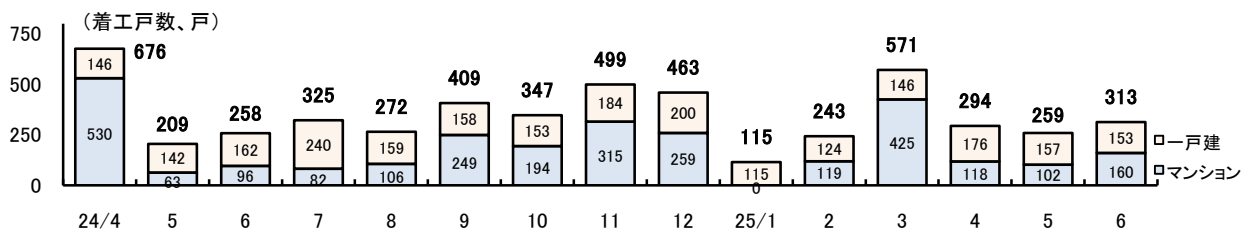
## ■住宅建設 ～ 持ち直しの動きが続いている

### ◆新設住宅着工戸数(6月)◆

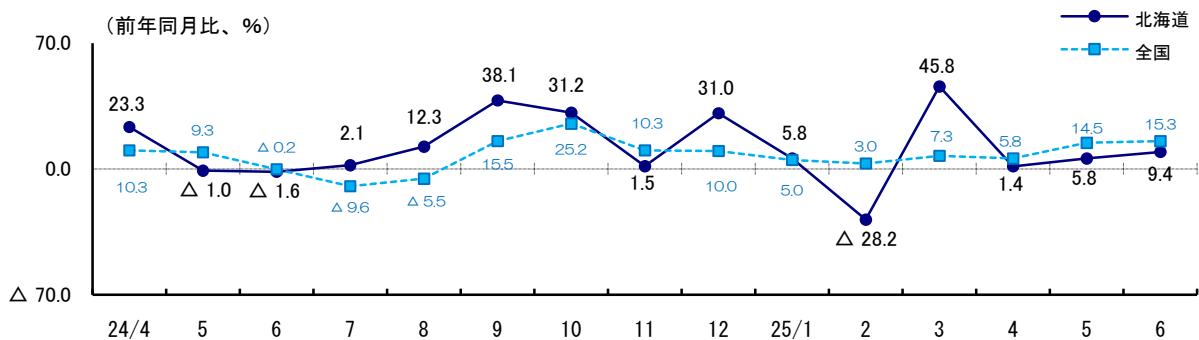
総戸数3,564戸、前年同月比9.4%増と4か月連続で前年を上回った。



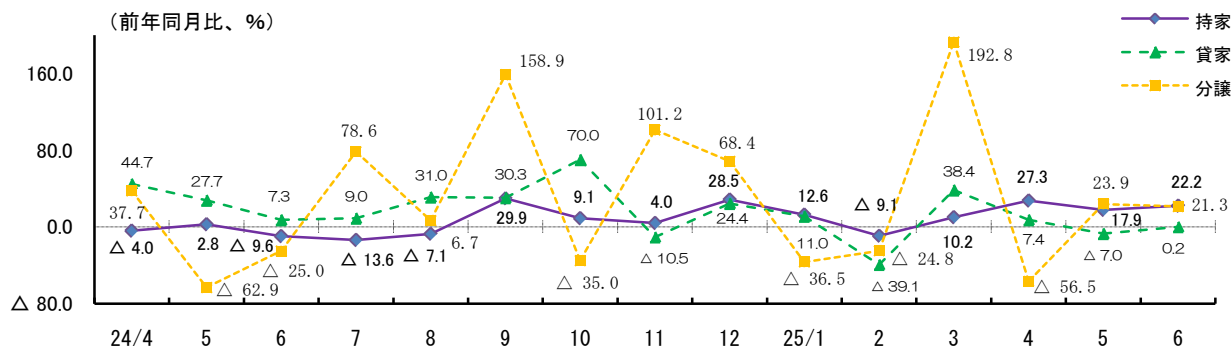
### ●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家、貸家、分譲の全てが、前年を上回った。



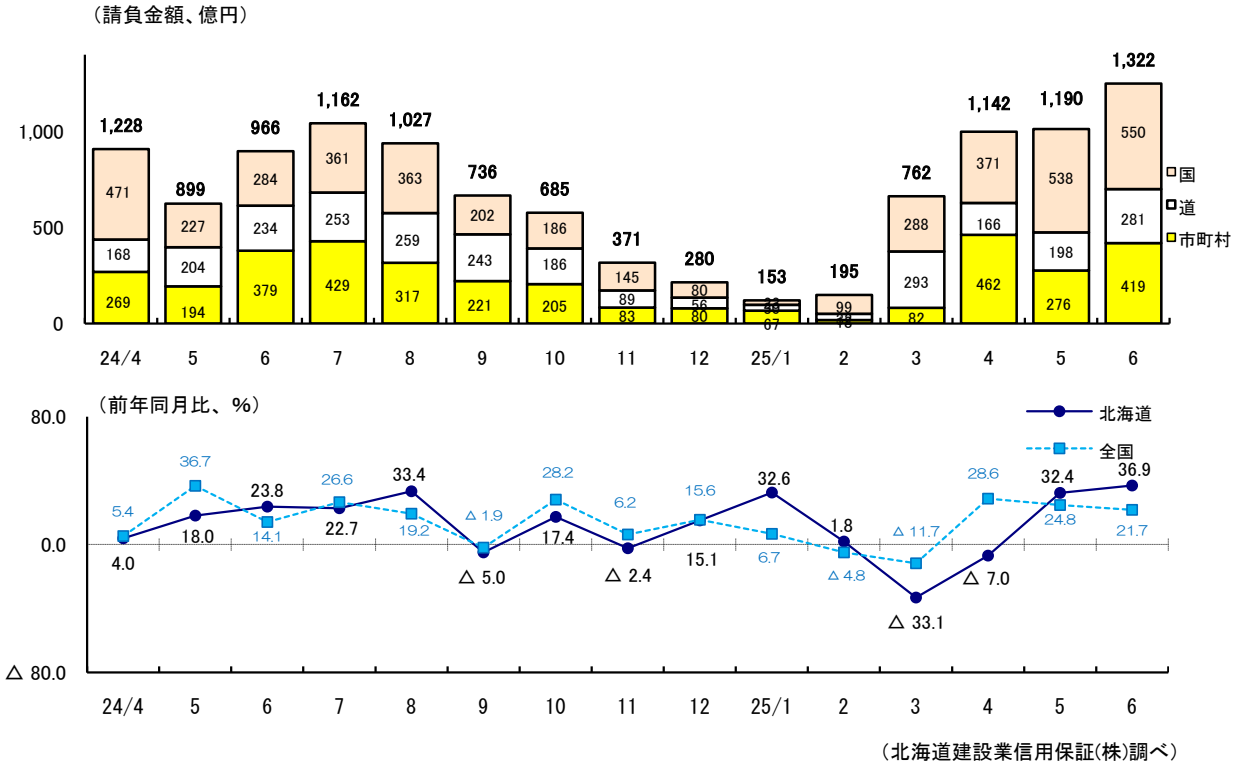
(国土交通省調べ)



■公共工事～ 増加の傾向にある

◆公共工事請負金額(6月)◆

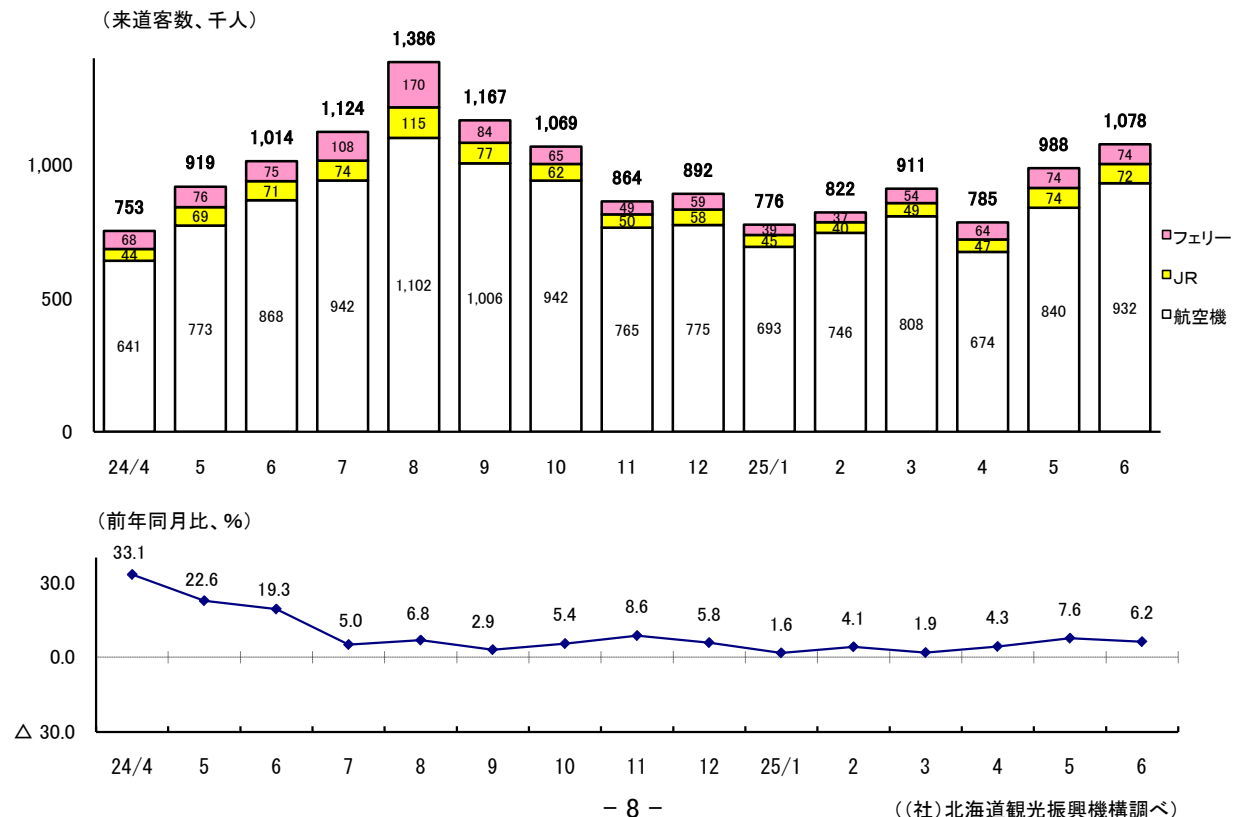
請負金額は1,322億円、前年同月比36.9%増と2か月連続で前年を上回った。



■観光～ 持ち直している

◆来道客数(6月)◆

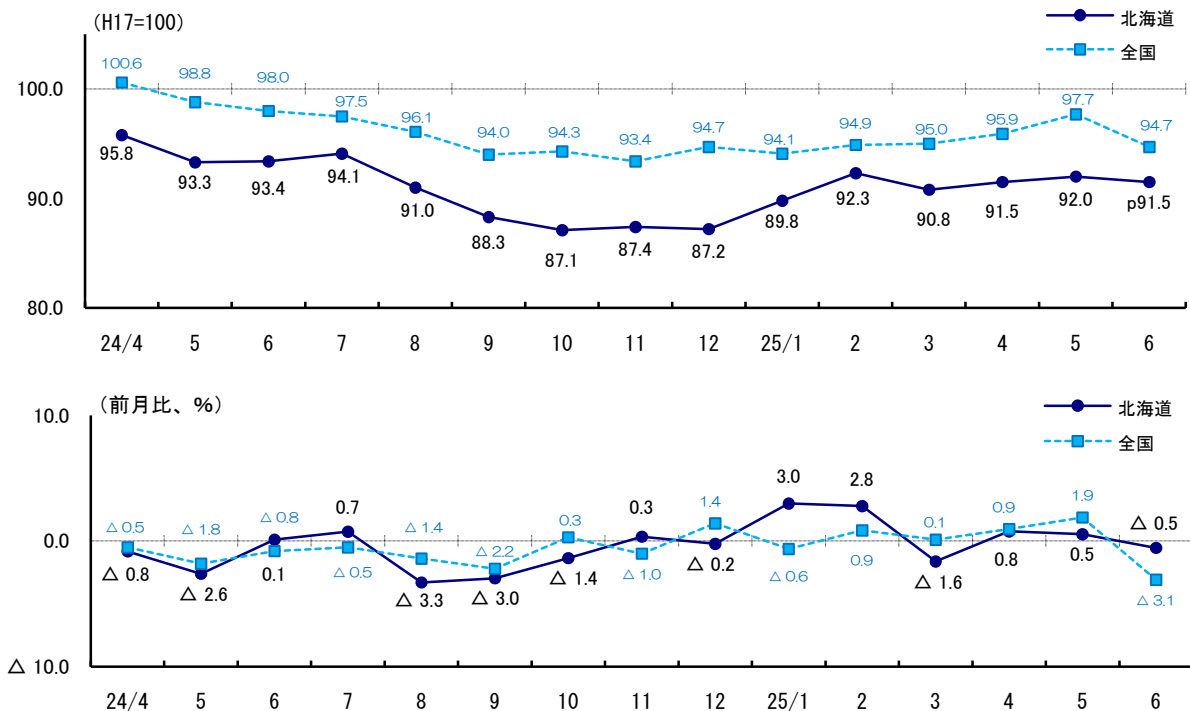
来道客数は108万人、前年同月比6.2%増と16か月連続で前年を上回った。



## ■生産活動～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

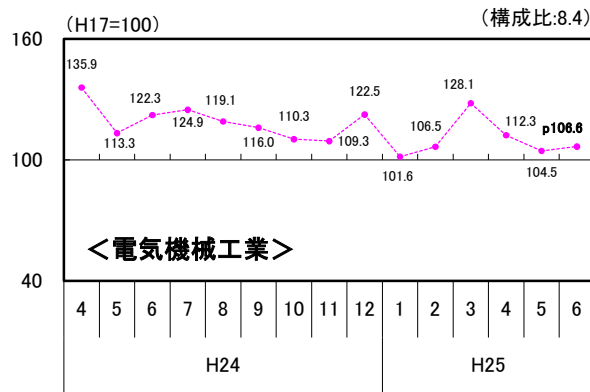
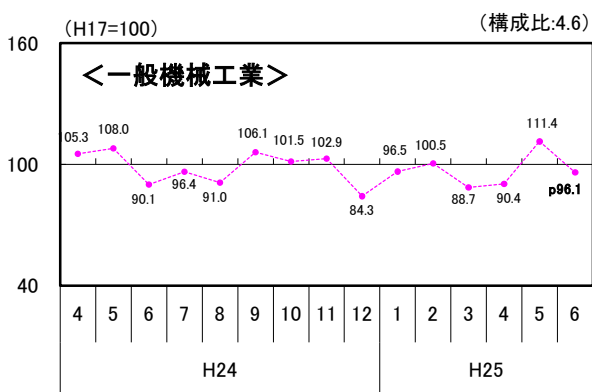
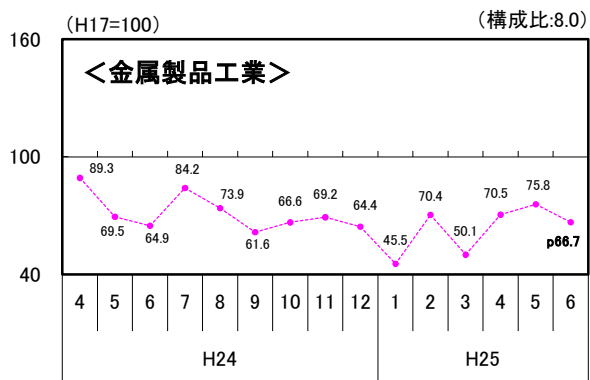
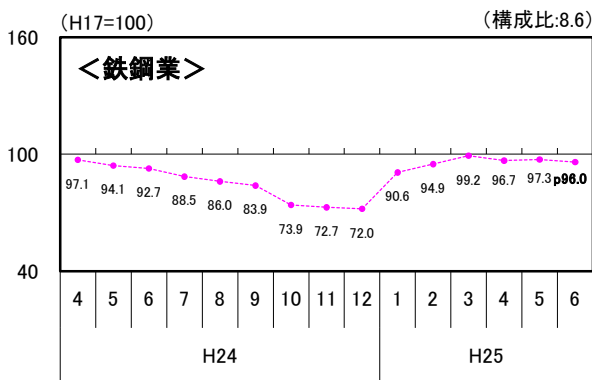
### ◆鉱工業生産指数（6月）◆

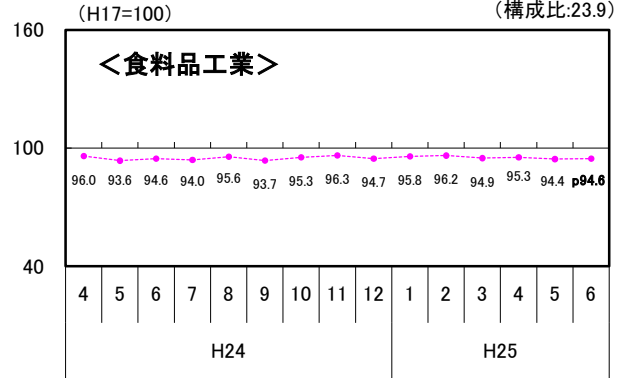
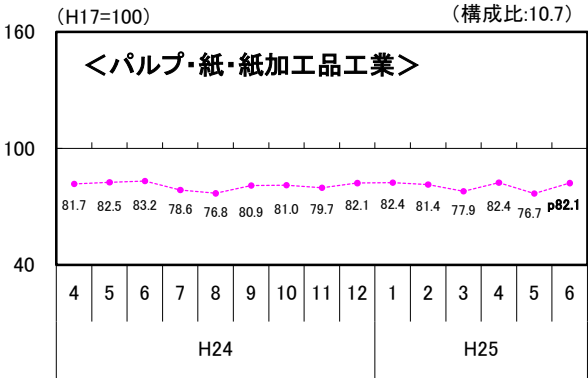
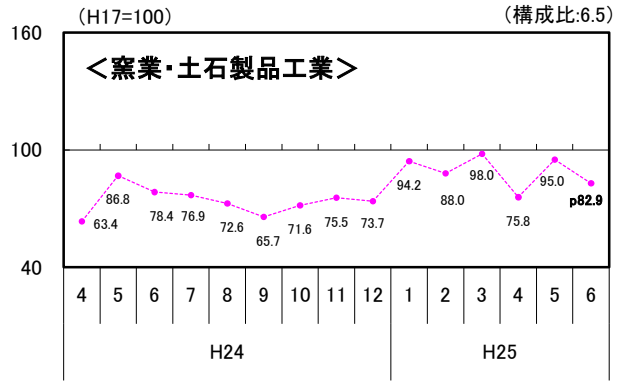
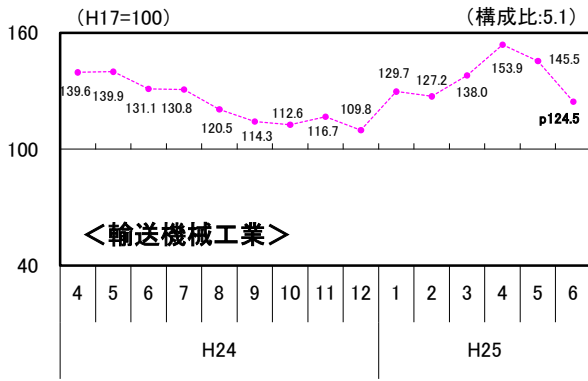
季節調整済指数で91.5、前月比0.5%減と3か月ぶりに前年を下回った。



※(H22=100)全国

業種別では、季節調整済指数で、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業が上昇したものの、鉄鋼業、金属製品工業、一般機械工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業は低下した。



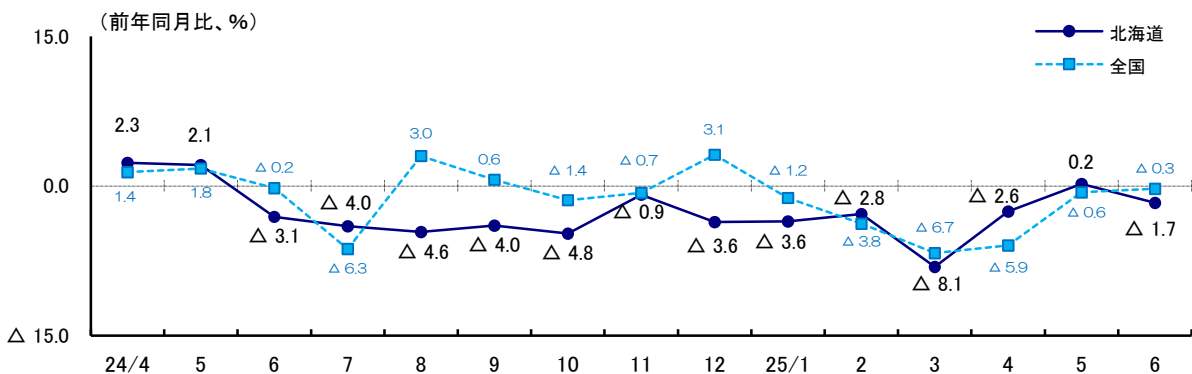
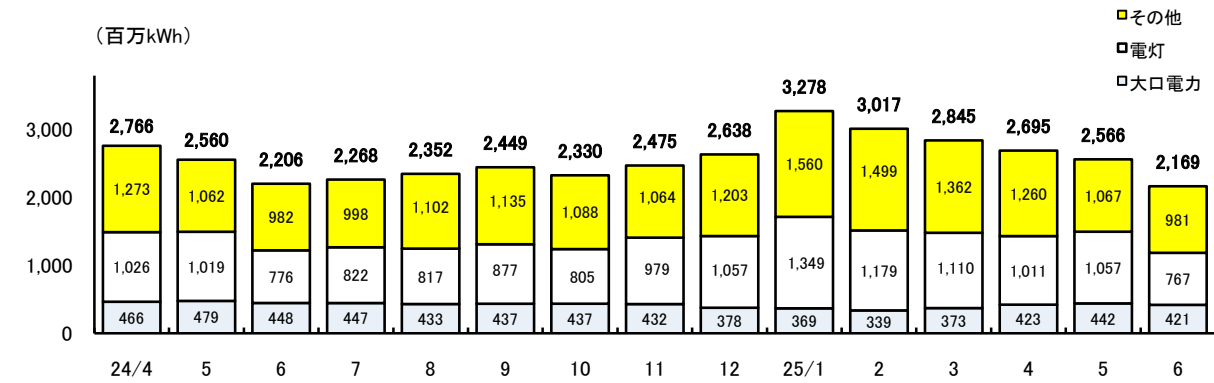


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

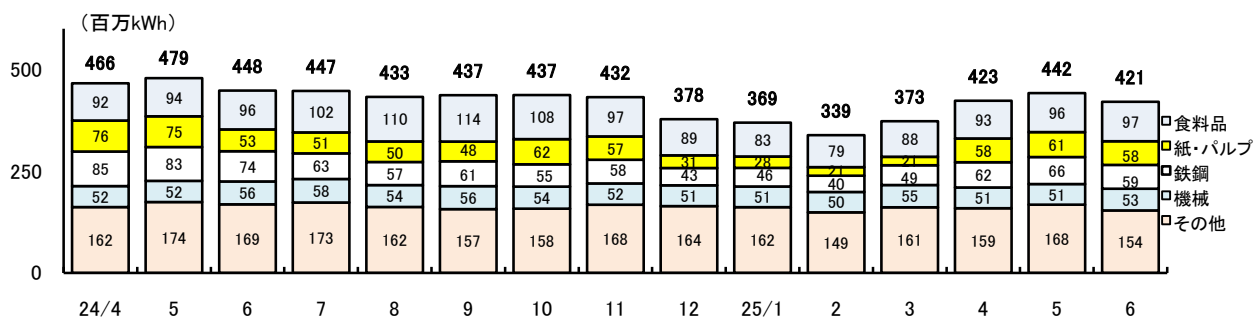
■ 電 力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

◆ 電力需要（6月） ◆

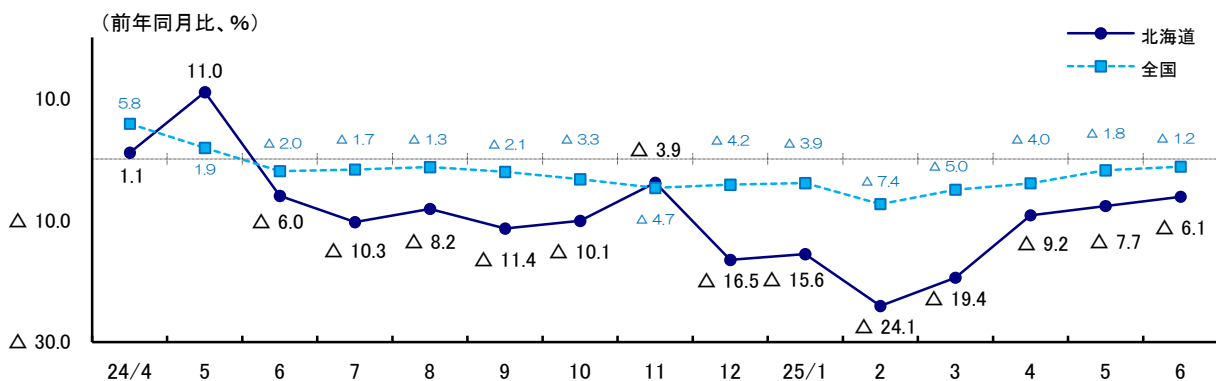
電力需要は2,169百万kWh、前年同月比1.7%減と2か月ぶりに前年を下回り、産業用需要の大口電力は421百万kWh、同6.1%減と13か月連続で前年を下回った。



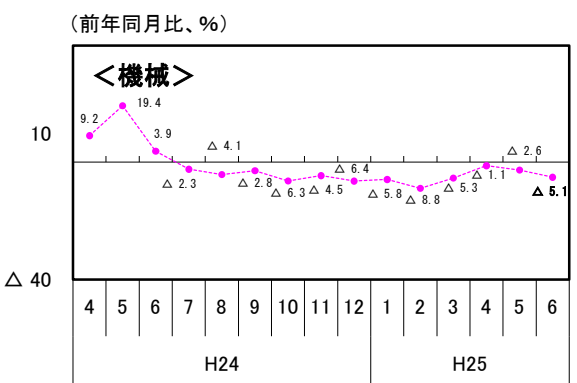
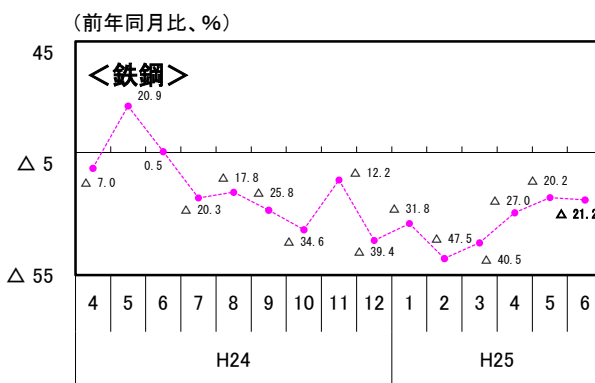
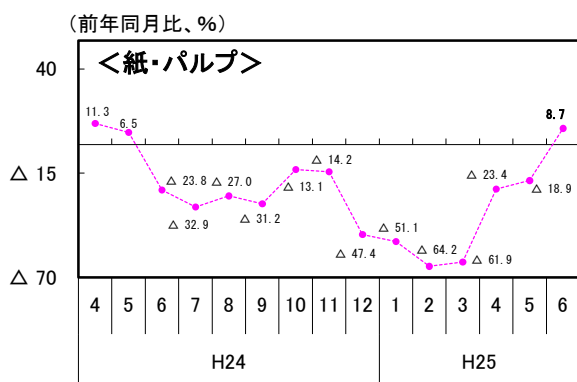
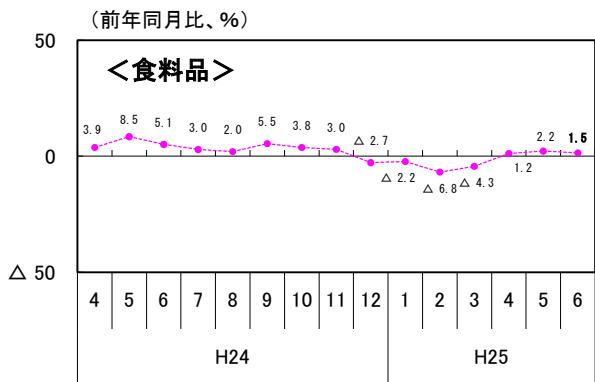
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食品、紙・パルプが前年を上回ったが、鉄鋼、機械が前年を下回った。

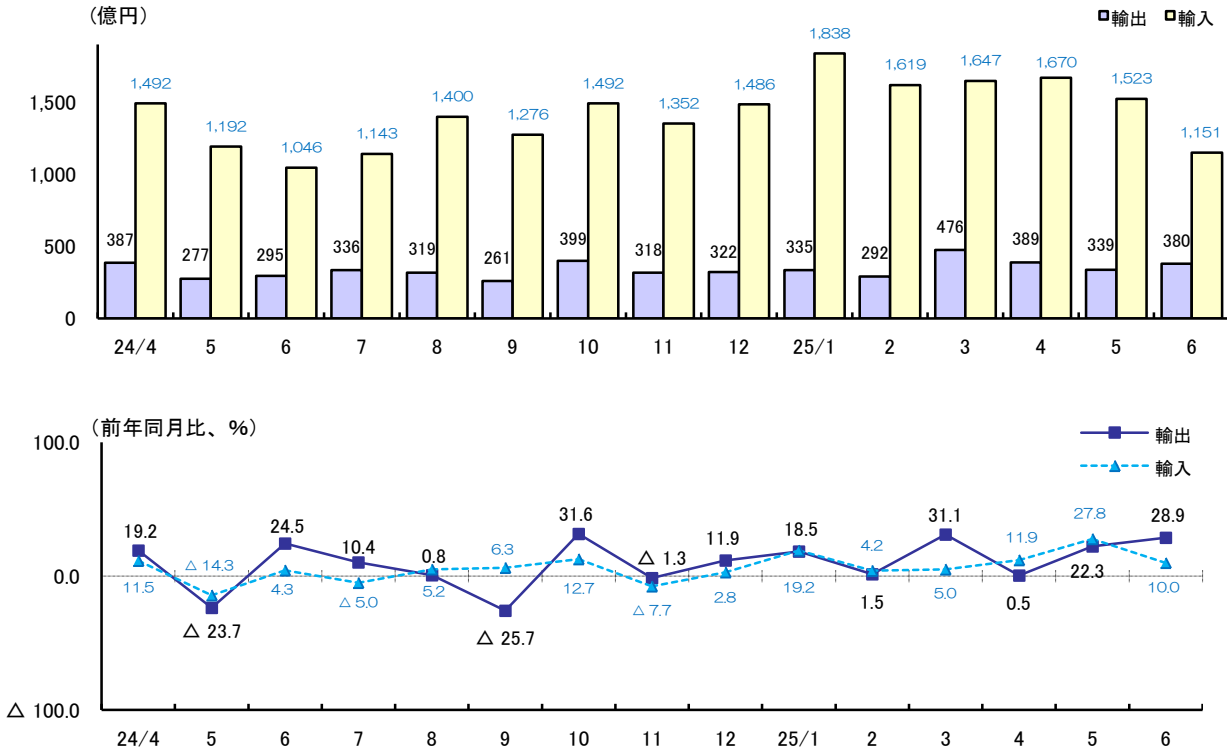


(電気事業連合会調べ)

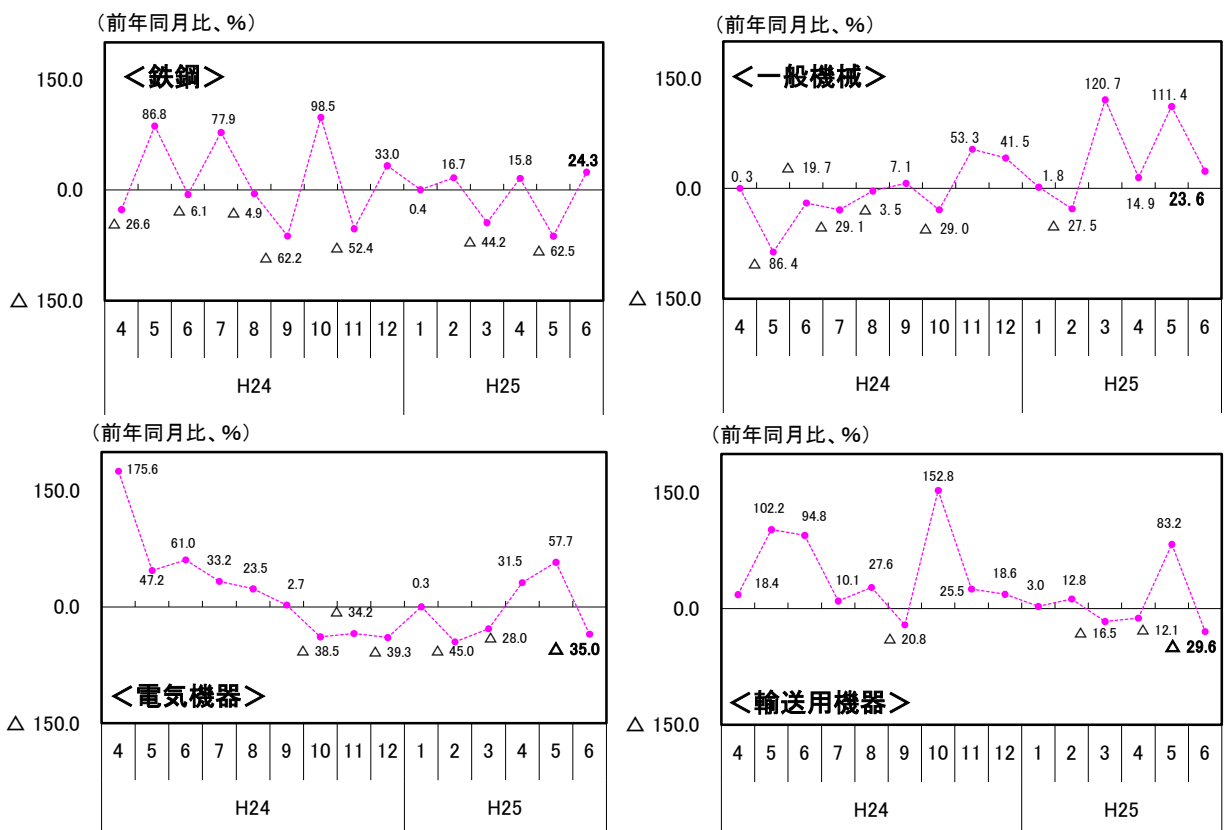
## ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

### ◆輸出入額（6月）◆

輸出額は380億円、前年同月比28.9%増と7か月連続で前年を上回り、輸入額1,151億円、同10.0%増と7か月連続で前年を上回った。



輸出品別では、鉄鋼、一般機械が前年を上回ったが、電気機器、輸送用機器が前年を下回った。

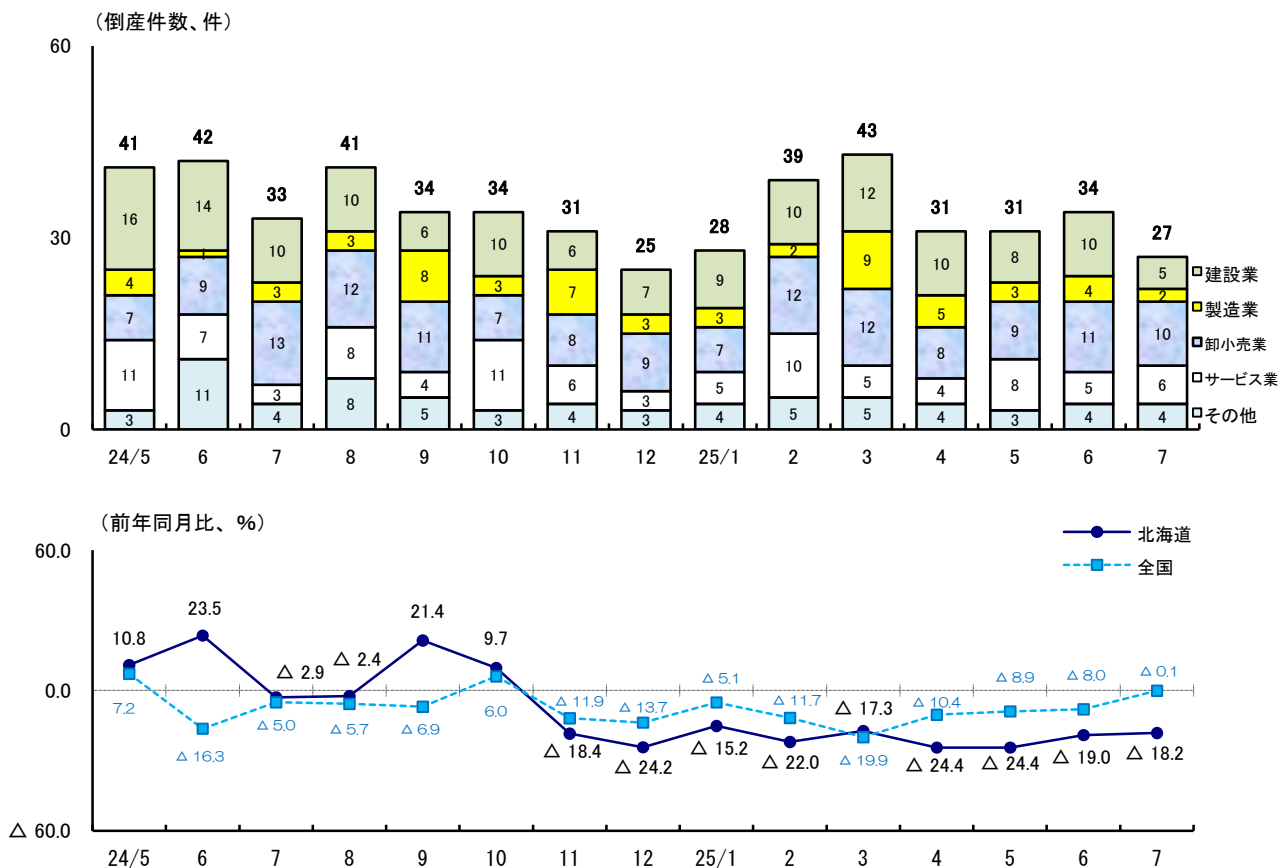


(財務省、函館税関調べ)

## ■企業倒産～ 件数、負債総額とも前年を下回った

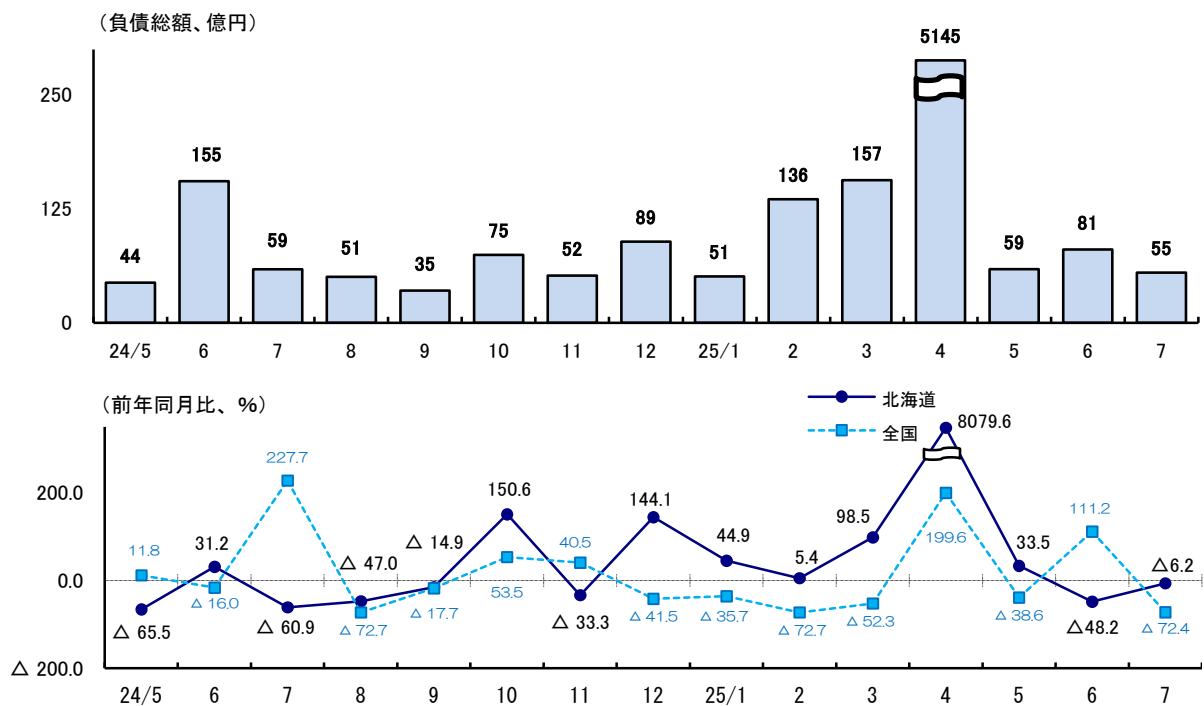
### ◆企業倒産件数（7月）◆

企業倒産件数は27件、前年同月比18.2%減と9か月連続で前年を下回った。



### ◆負債総額（7月）◆

負債総額は55億円、前年同月比6.2%減と2か月連続で前年を下回った。

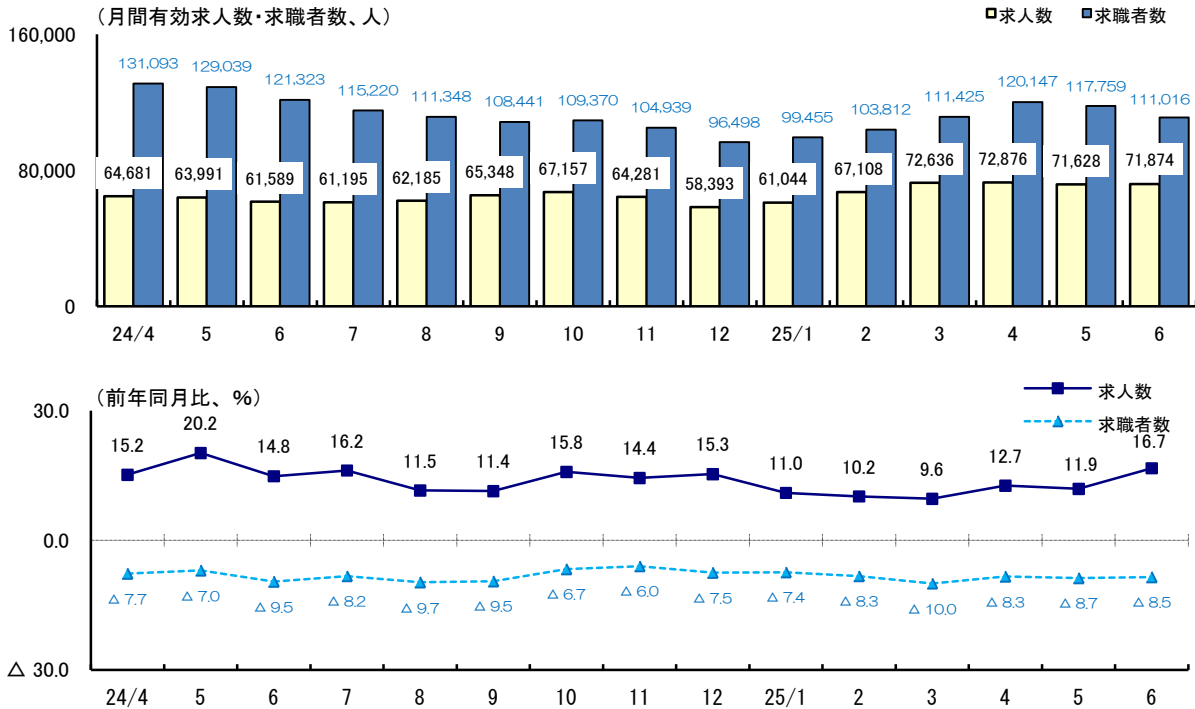


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ■雇 用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

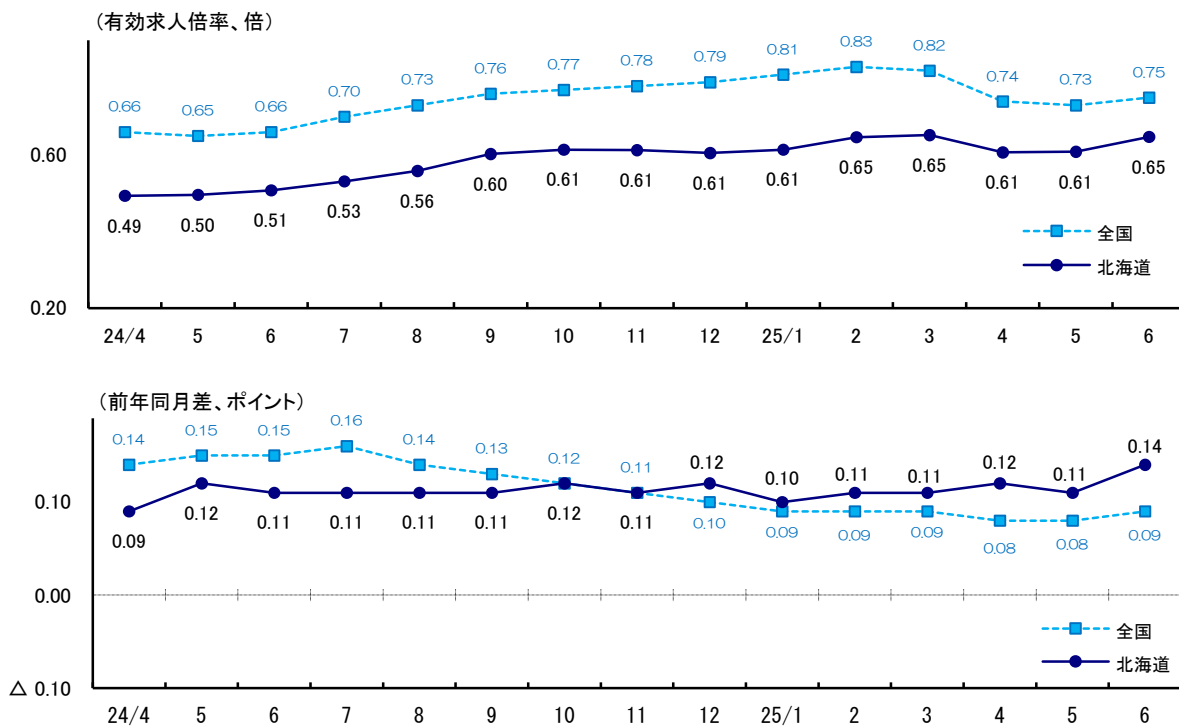
### ◆月間有効求人数・求職者数（6月）◆

月間有効求人数は7万1,874人、前年同月比16.7%増と41か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は11万1,016人、前年同月比8.5%減と20か月連続で前年を下回った。



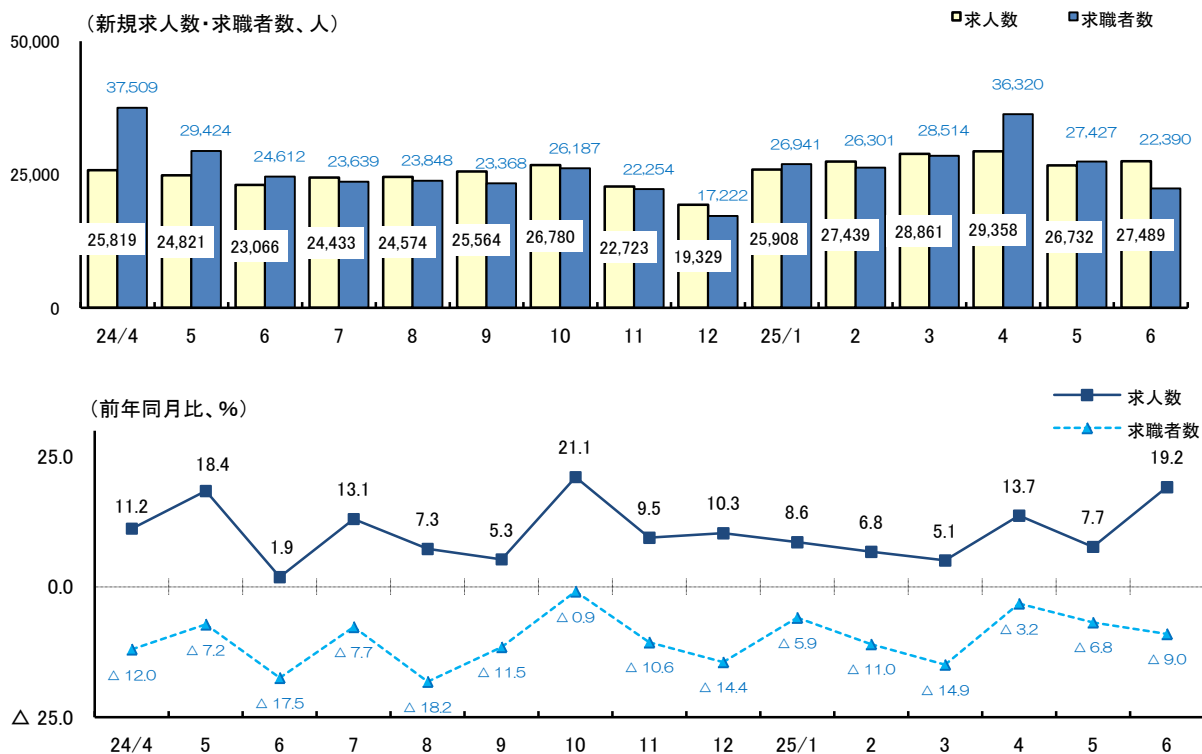
### ◆有効求人倍率（6月）◆

有効求人倍率は0.65倍、前年同月差では0.14ポイント増となり、41か月連続で前年を上回った。



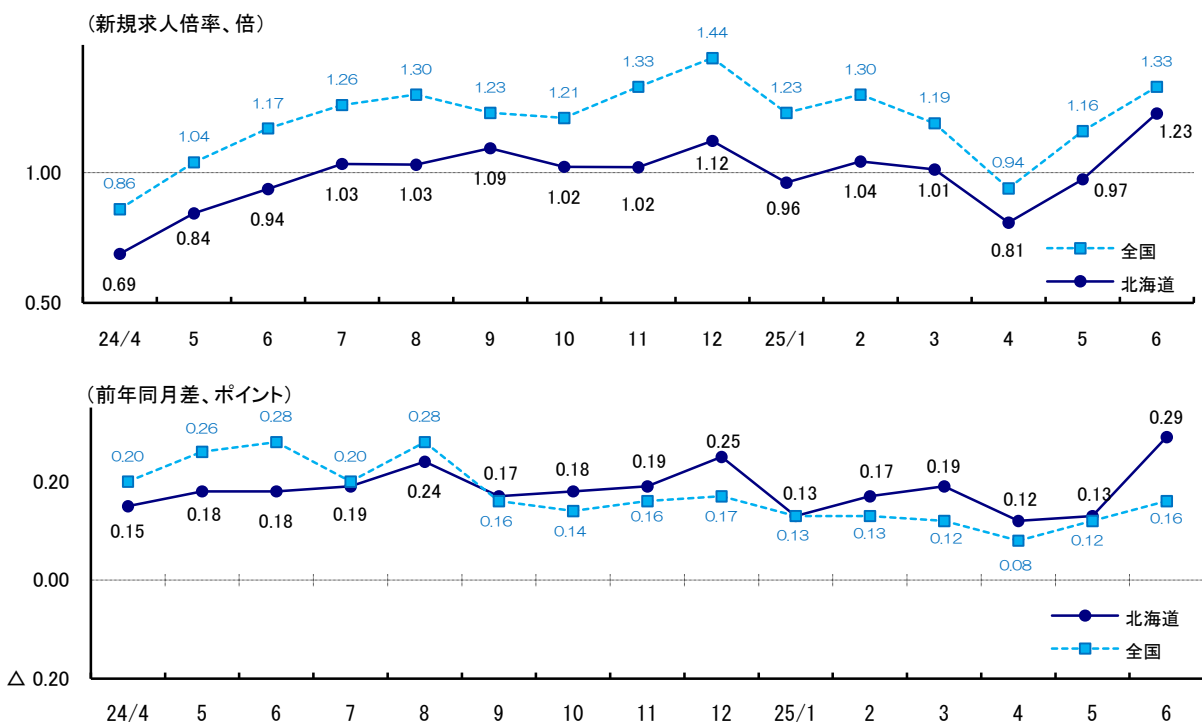
### ◆新規求人数・求職者数（6月）◆

新規求人数は2万7,489人、前年同月比19.2%増と41か月連続で前年を上回り、新規求職者数は2万2,390人、前年同月比9.0%減と20か月連続で前年を下回った。



### ◆新規求人倍率（6月）◆

新規求人倍率は1.23倍、前年同月差では0.29ポイント増となり、25か月連続で前年を上回った。

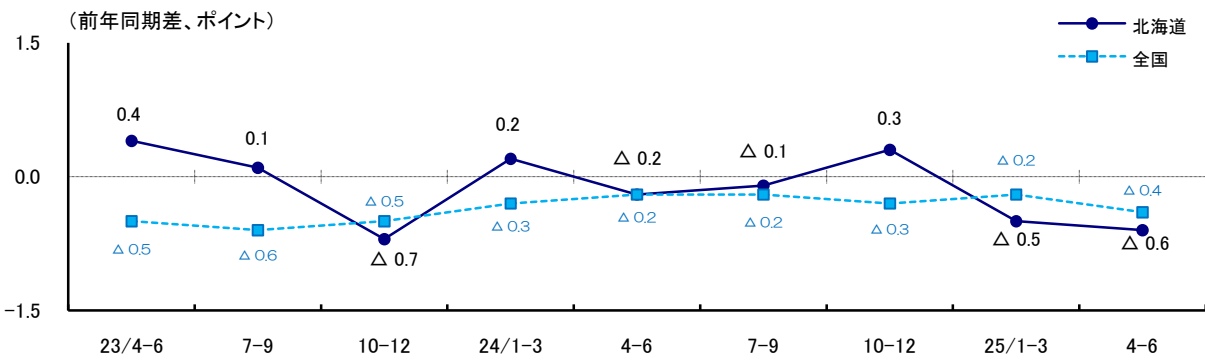
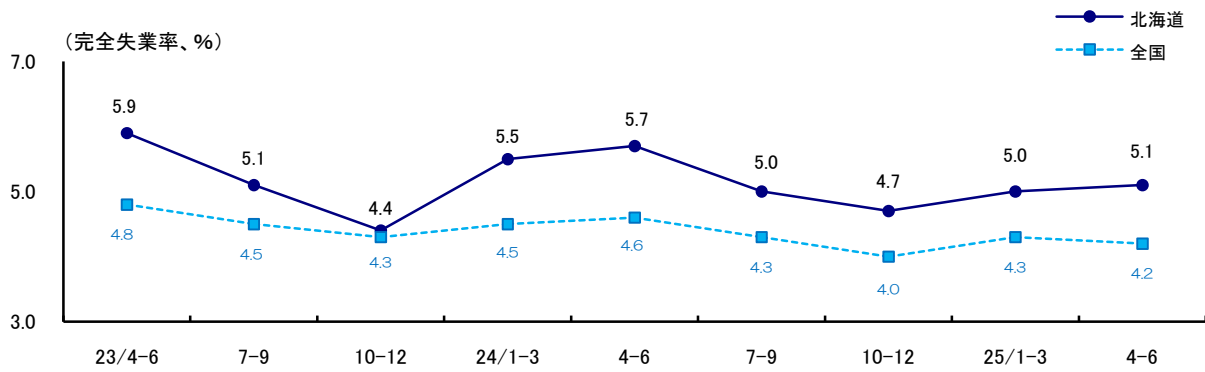
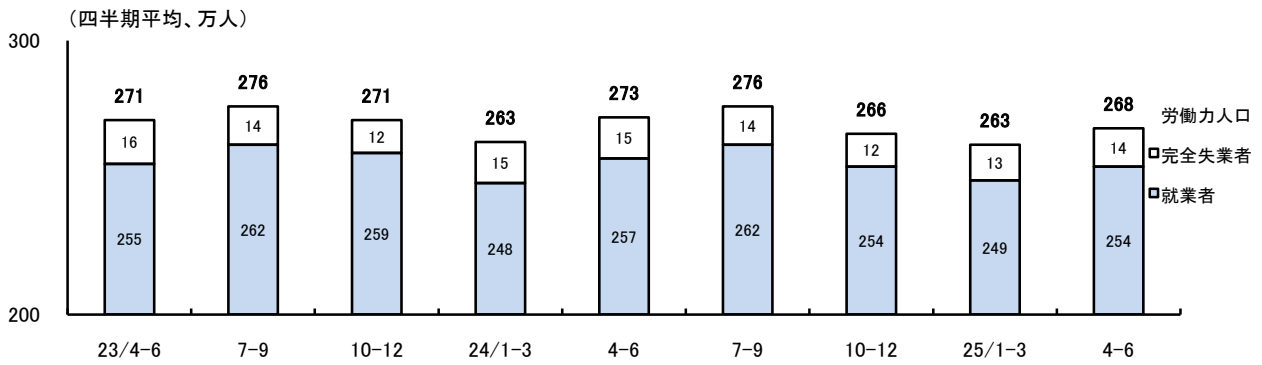


(北海道労働局、厚生労働省調べ)



◆完全失業者数、完全失業率（25年4-6月期）◆

完全失業者数は14万人と前年同期に比べて1万人減少し、完全失業率は5.1%、前年同期から0.6ポイント低下した。



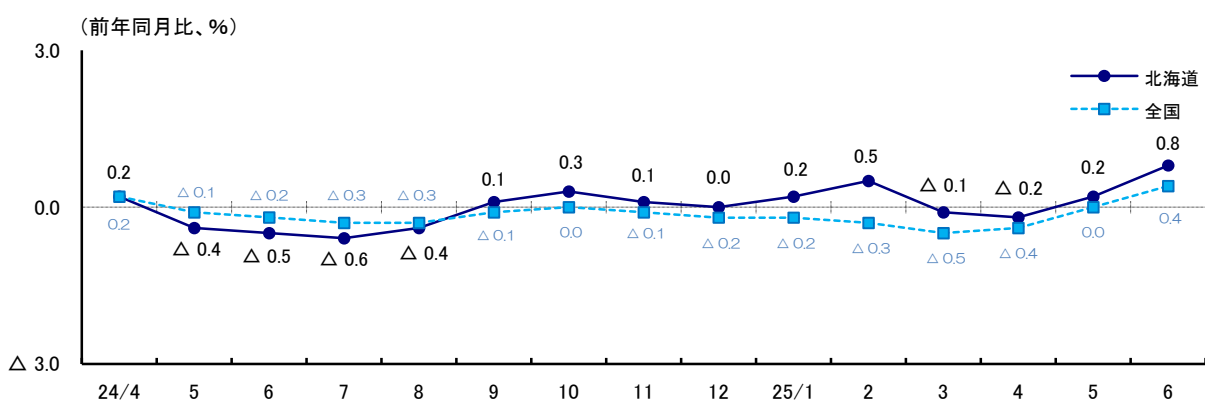
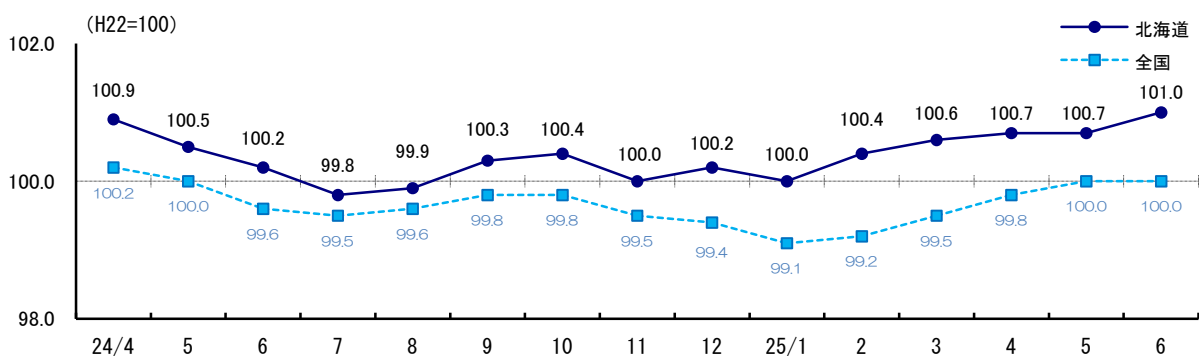
(総務省調べ)

※ 平成23年1-3月から7-9月までの全国値は、補完的な推計を行って算出した参考値

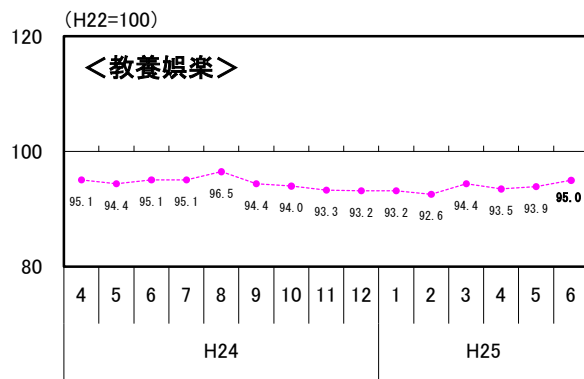
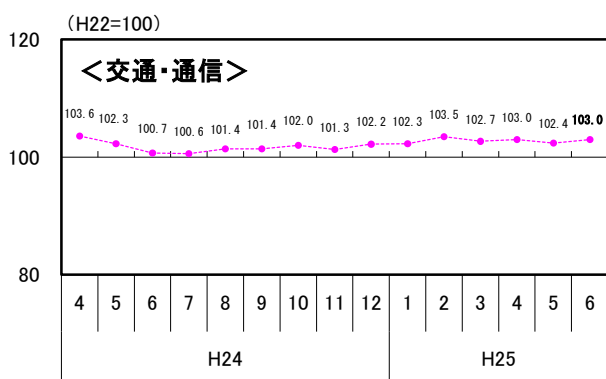
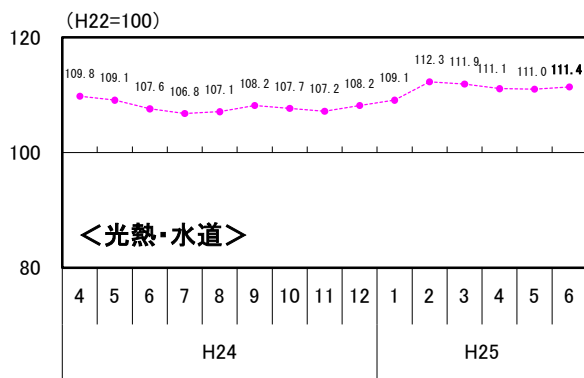
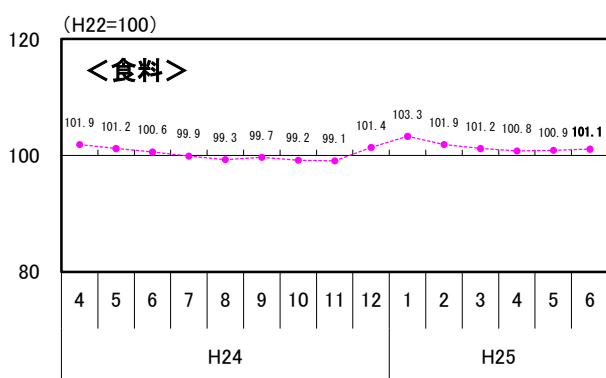
## ■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

### ◆消費者物価指数（6月）◆

生鮮食品を除く総合で101.0と、前年同月比0.8%増と2か月連続で前年を上回った。



前月からの動きを費目別でみると、食料、光熱・水道、交通・通信、教養娯楽の全てで上昇した。

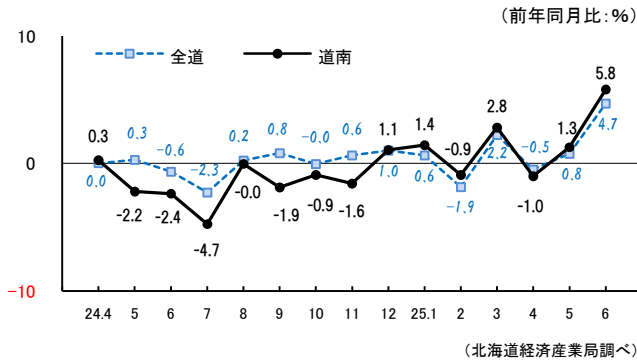


（総務省統計局調べ）

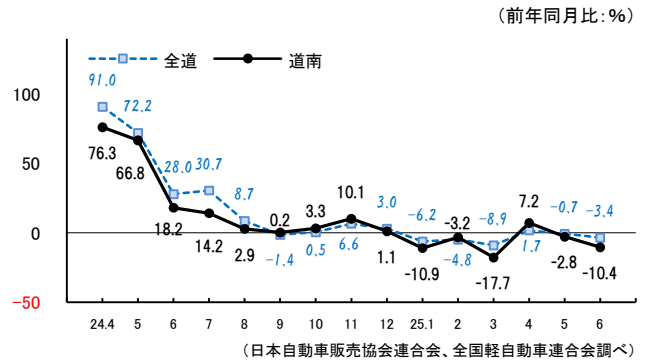
## ■ 地域の経済動向

### 道南圏

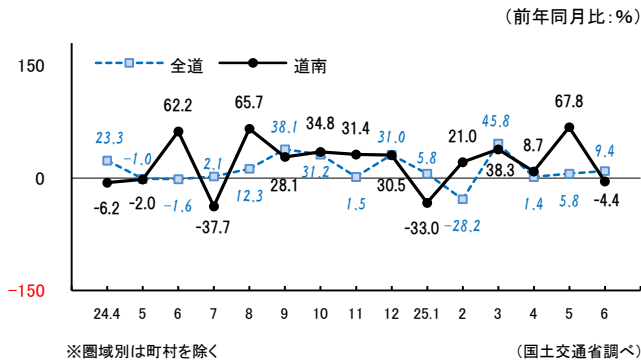
#### ◆大型小売店販売額(全店、函館市) (6月)◆ 2か月連続で前年を上回った



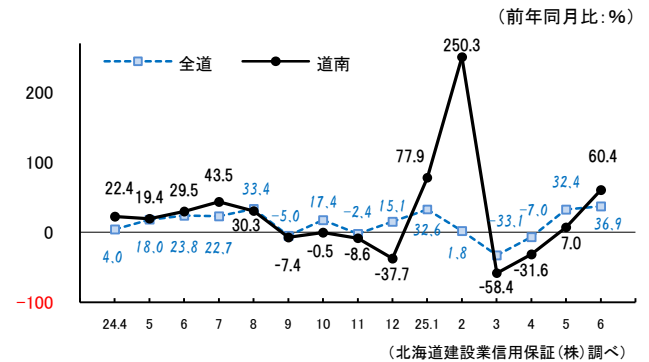
#### ◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆ 2か月連続で前年を下回った



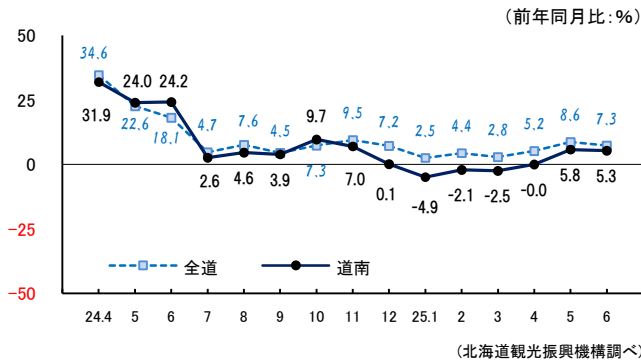
#### ◆新設住宅着工戸数 (6月)◆ 5か月ぶりに前年を下回った



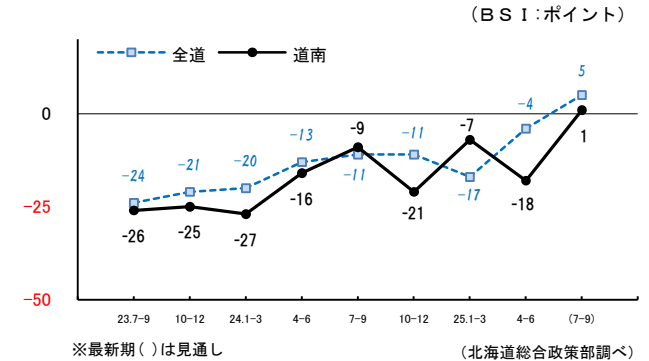
#### ◆公共工事請負金額 (6月)◆ 2か月連続で前年を上回った



#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆ 2か月連続で前年を上回った

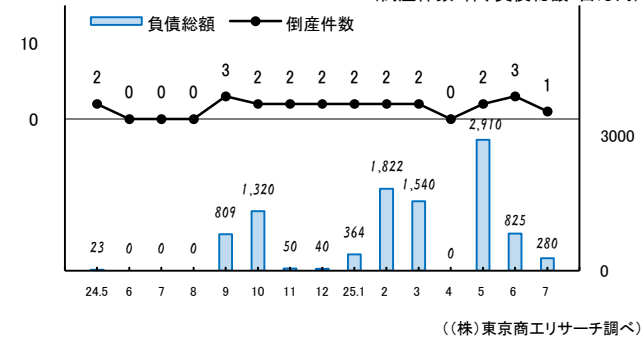


#### ◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



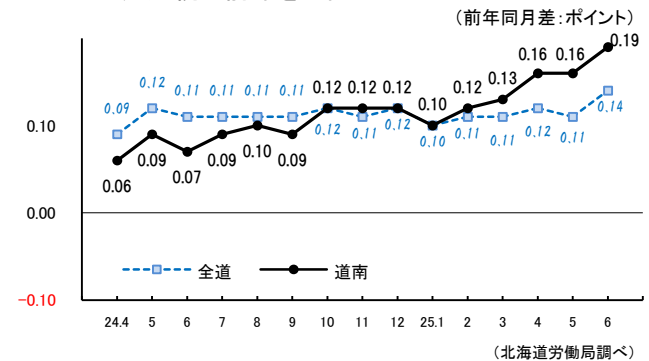
#### ◆企業倒産 (7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (6月)◆

37か月連続で前年を上回った

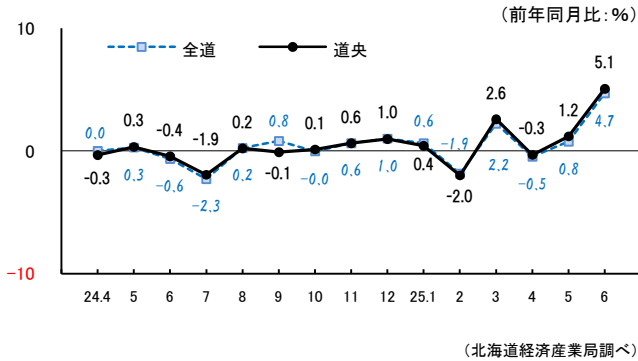


■ 地域の経済動向

道央圏

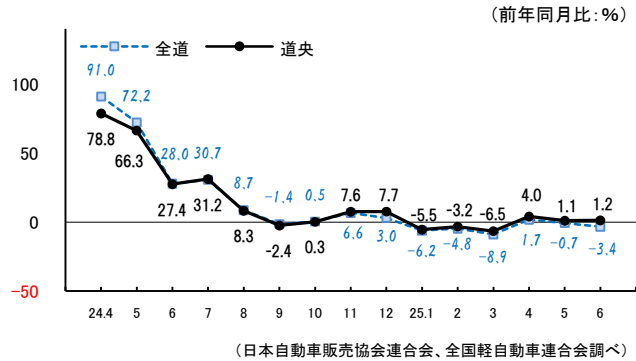
◆大型小売店販売額(6月)◆

(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)  
2か月連続で前年を上回った



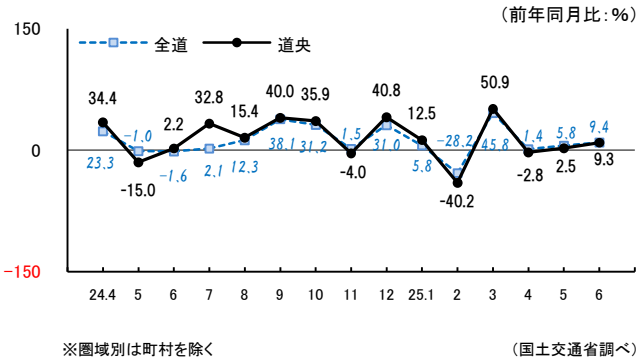
◆新車登録台数(乗用車)(6月)◆

3か月連続で前年を上回った



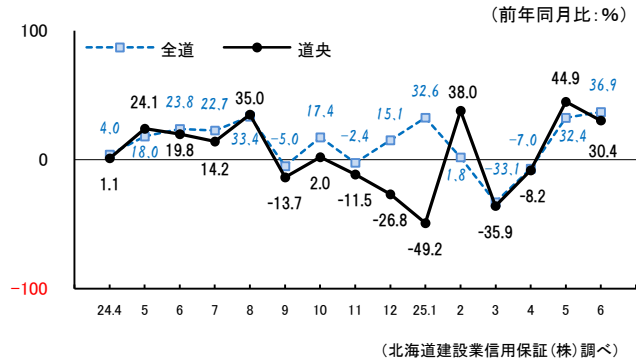
◆新設住宅着工戸数(6月)◆

2か月連続で前年を上回った



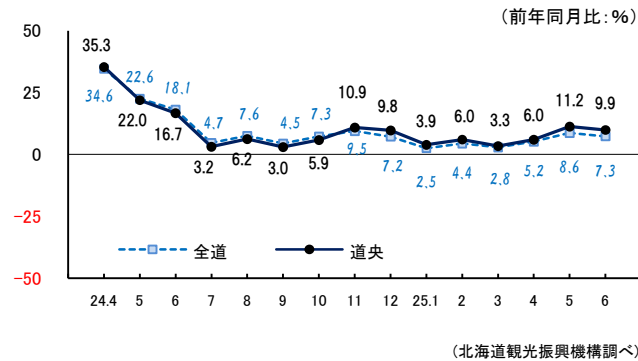
◆公共工事請負金額(6月)◆

2か月連続で前年を上回った



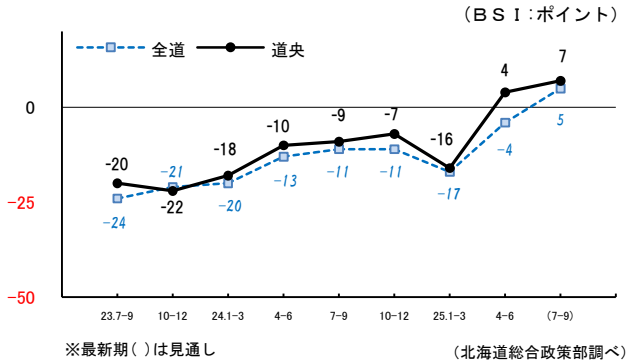
◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)◆

16か月連続で前年を上回った



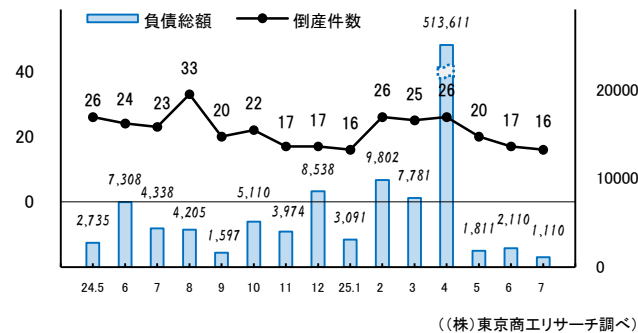
◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期マイナスからプラスに転換した



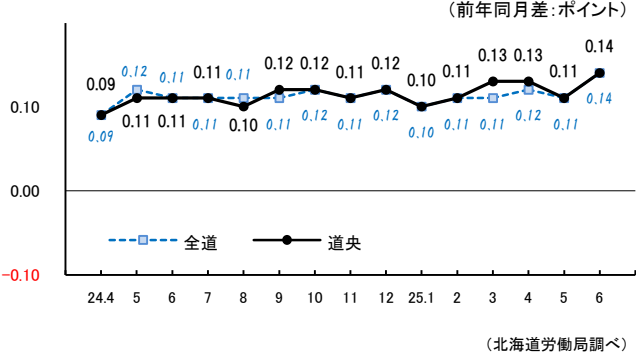
◆企業倒産(7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(6月)◆

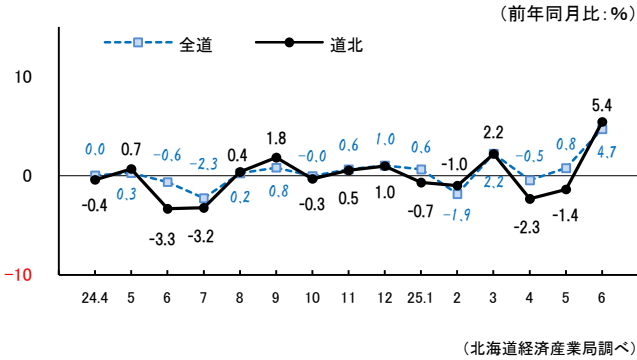
40か月連続で前年を上回った



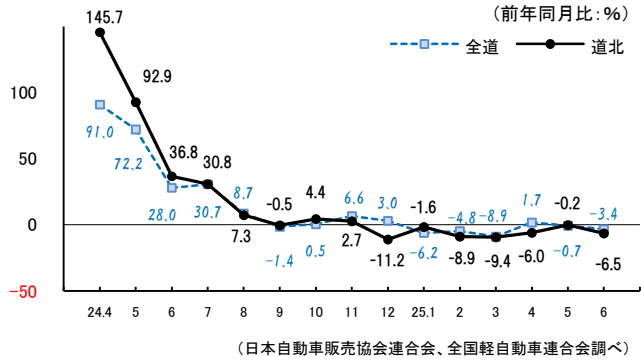
■ 地域の経済動向

道北圏

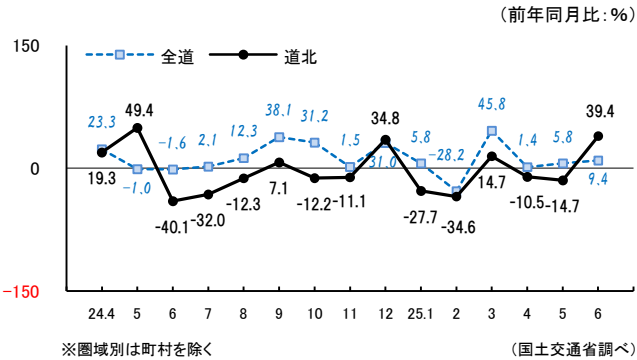
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (6月)◆  
3か月ぶりに前年を上回った



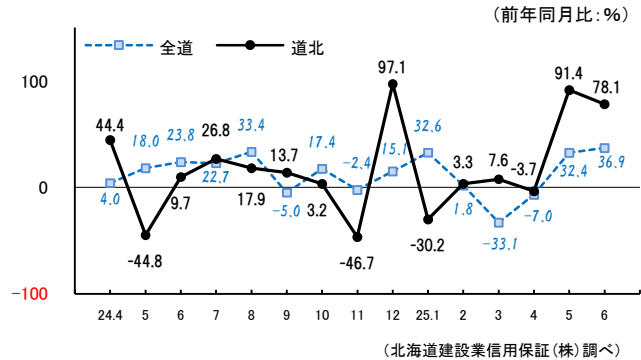
◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆  
7か月連続で前年を下回った



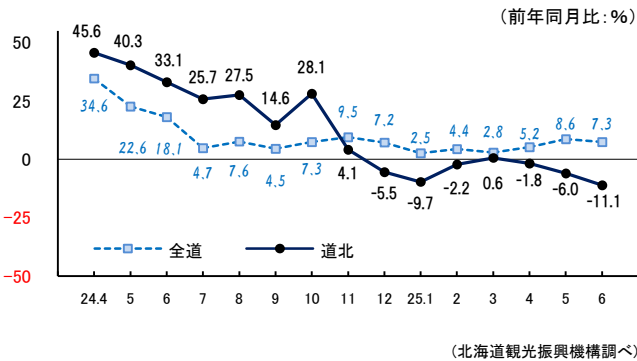
◆新設住宅着工戸数 (6月)◆  
3か月ぶりに前年を上回った



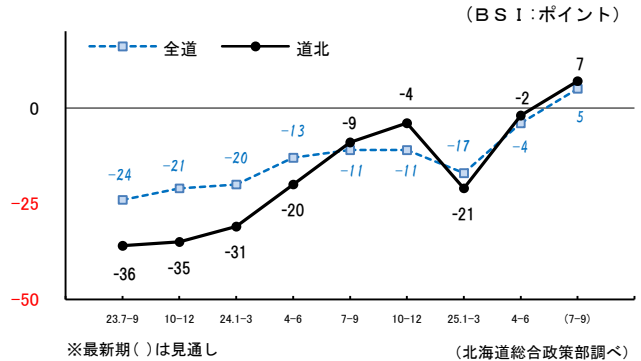
◆公共工事請負金額 (6月)◆  
2か月連続で前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆  
3か月連続で前年を下回った

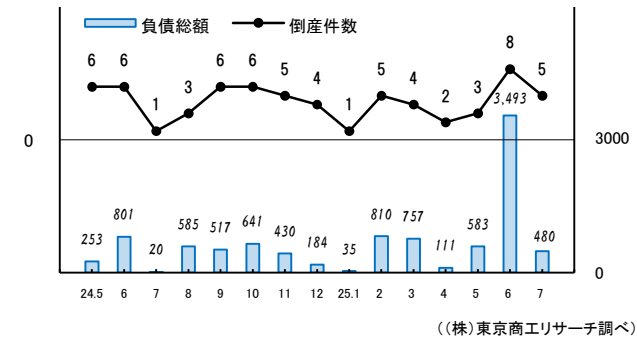


◆企業の業況感 (4-6月期)◆  
前期からマイナス幅が縮小した



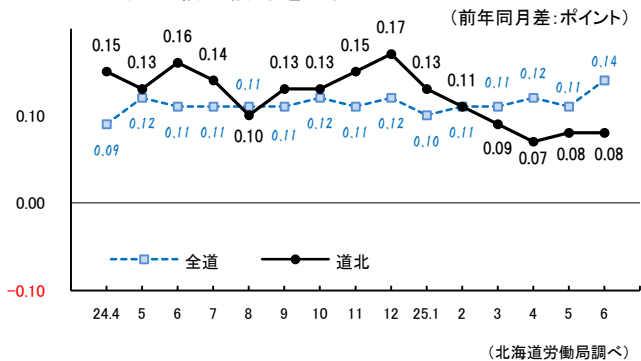
◆企業倒産 (7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (6月)◆

42か月連続で前年を上回った

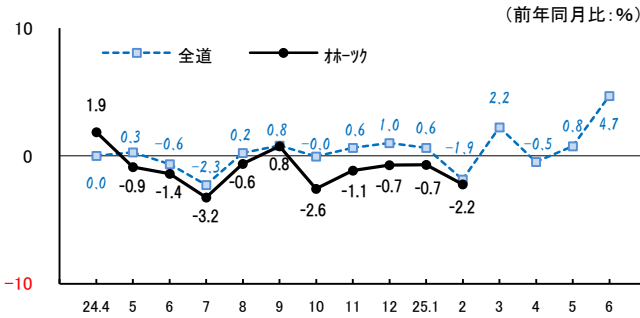


## ■ 地域の経済動向

### オホーツク圏

#### ◆主要小売店売上高(全店)(2月)◆

5か月連続で前年を下回った

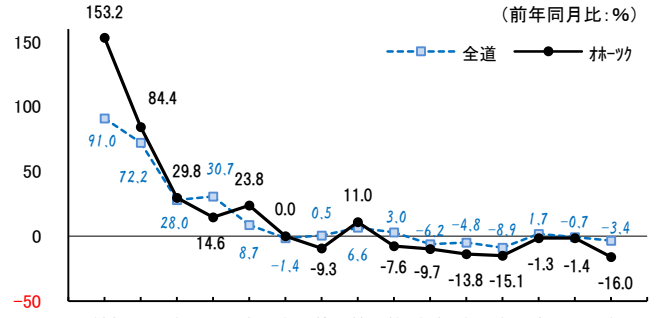


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

#### ◆新車登録台数(乗用車)(6月)◆

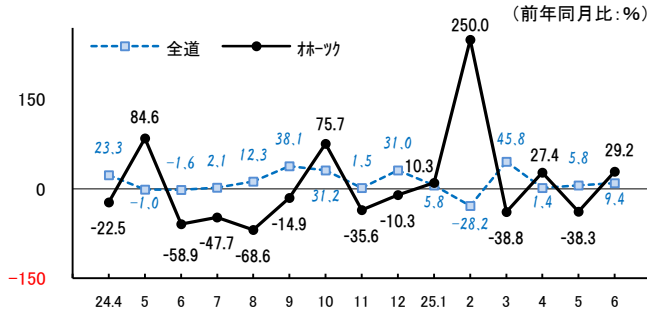
7か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

#### ◆新設住宅着工戸数(6月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

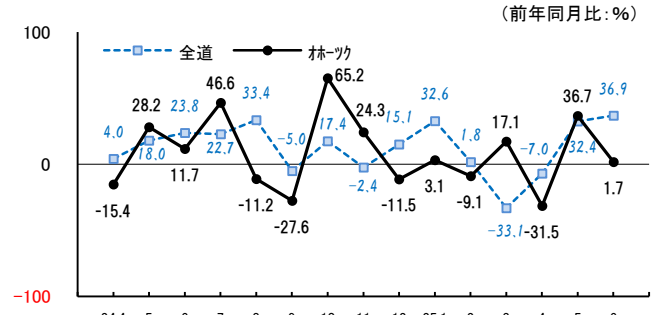


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

#### ◆公共工事請負金額(6月)◆

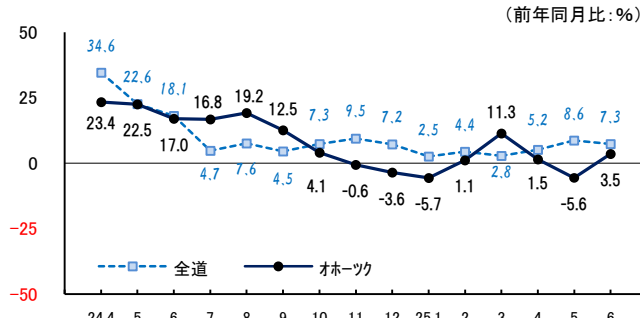
2か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)◆

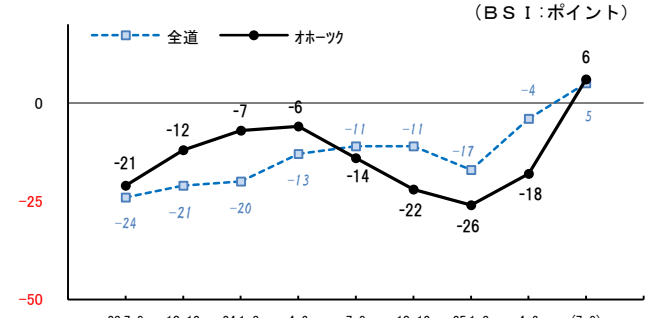
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

#### ◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

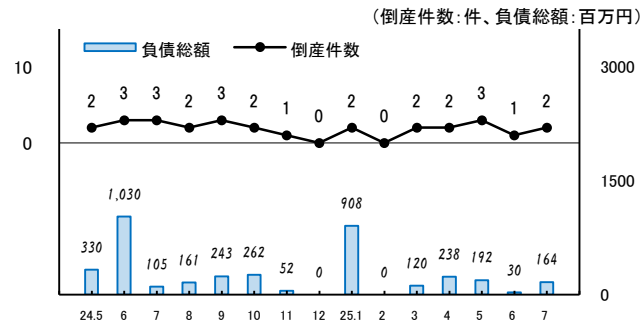


※最新期( )は見通し

(北海道総合政策部調べ)

#### ◆企業倒産(7月)◆

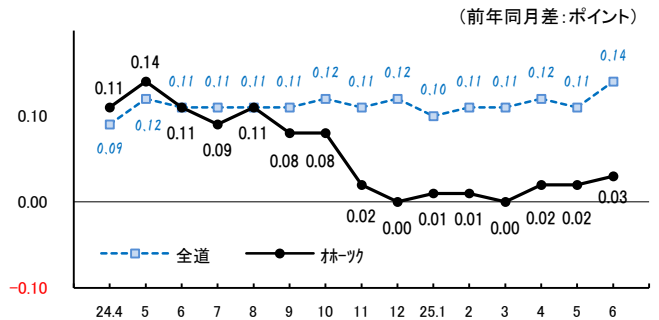
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

#### ◆有効求人倍率(6月)◆

3か月連続で前年を上回った

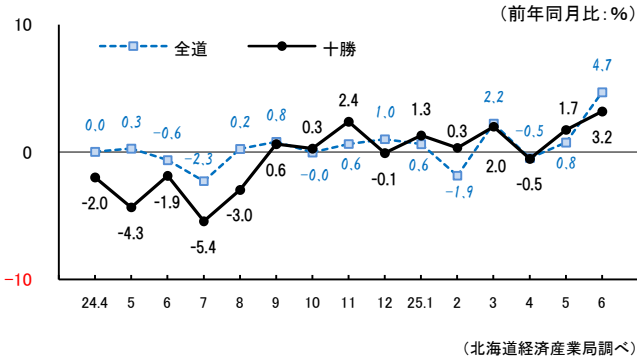


(北海道労働局調べ)

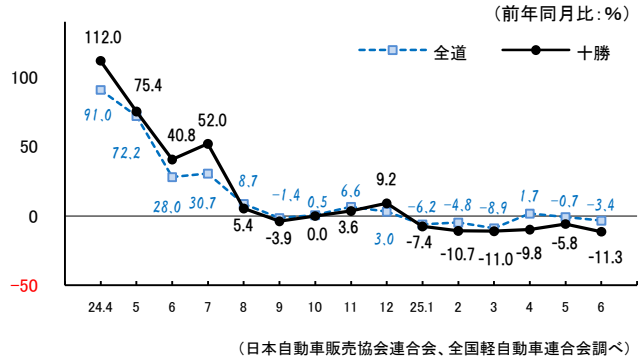
■ 地域の経済動向

十勝圏

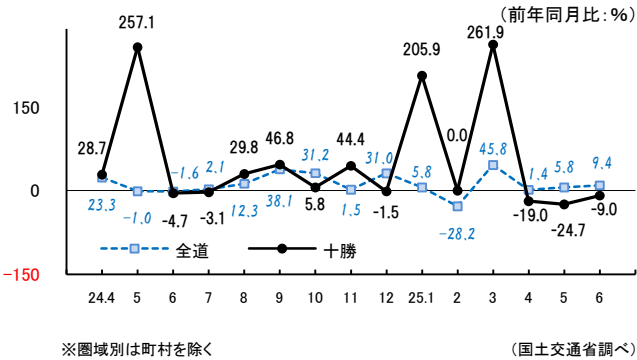
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (6月)◆  
2か月連続で前年を上回った



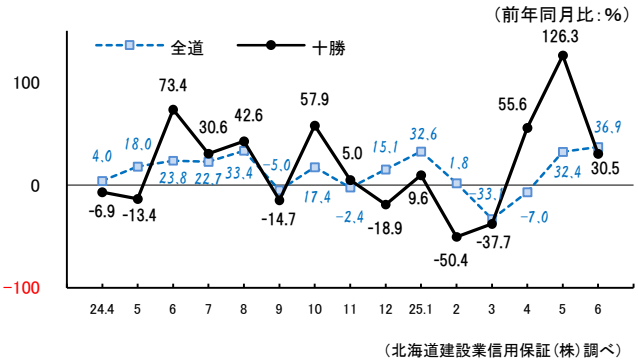
◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆  
6か月連続で前年を下回った



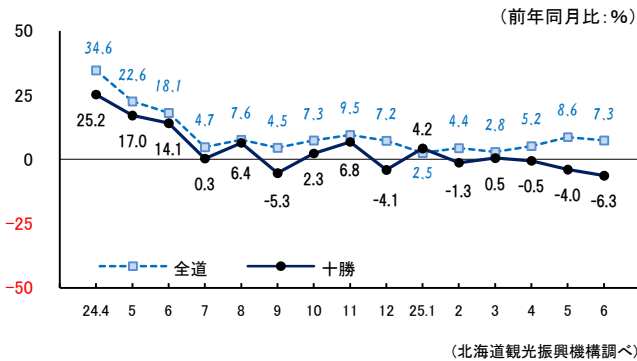
◆新設住宅着工戸数 (6月)◆  
3か月連続で前年を下回った



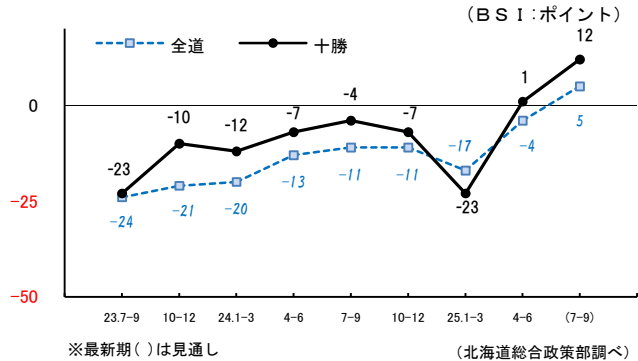
◆公共工事請負金額 (6月)◆  
3か月連続で前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆  
3か月連続で前年を下回った

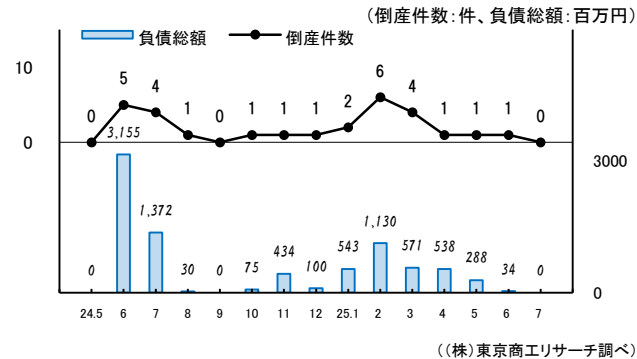


◆企業の業況感 (4-6月期)◆  
前期マイナスからプラスに転換した



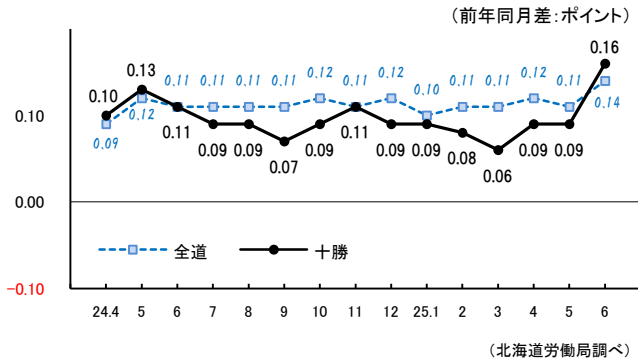
◆企業倒産 (7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (6月)◆

20か月連続で前年を上回った



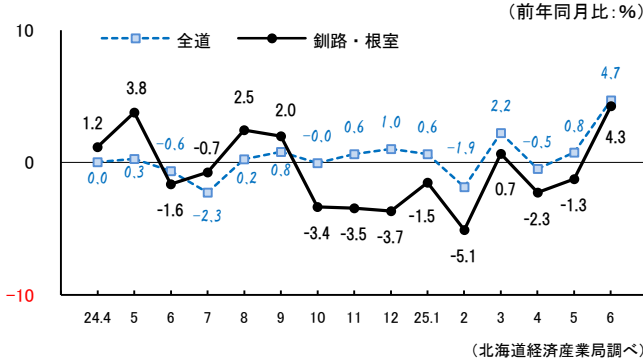


## ■ 地域の経済動向

### 釧路・根室圏

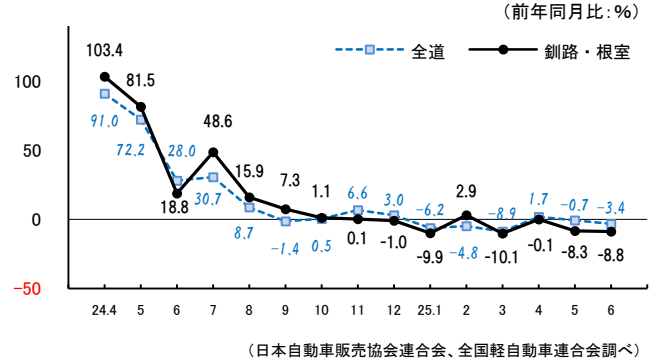
#### ◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (6月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



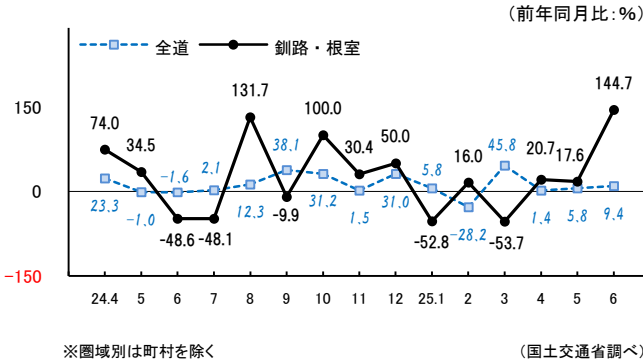
#### ◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆

4か月連続で前年を下回った



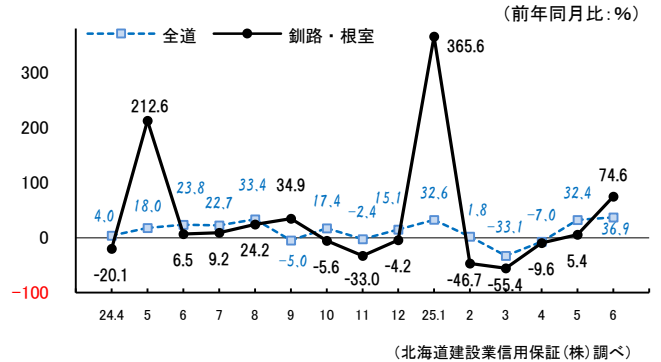
#### ◆新設住宅着工戸数 (6月)◆

3か月連続で前年を上回った



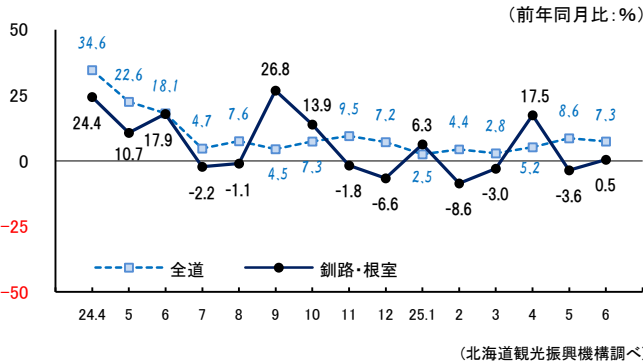
#### ◆公共工事請負金額 (6月)◆

2か月連続で前年を上回った



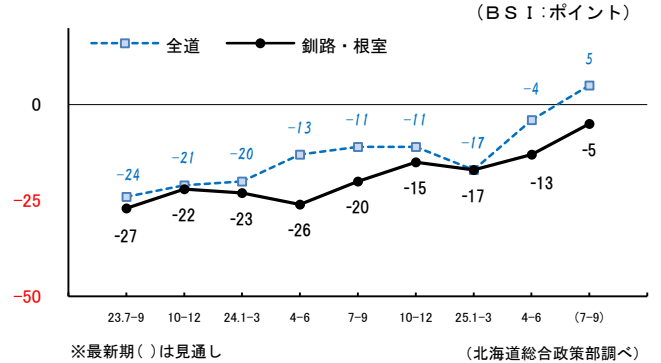
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



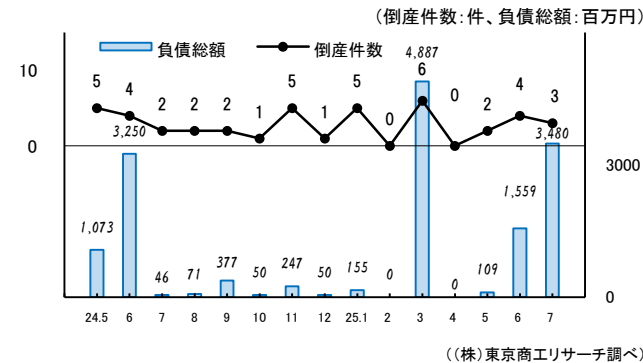
#### ◆企業の業況感 (4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



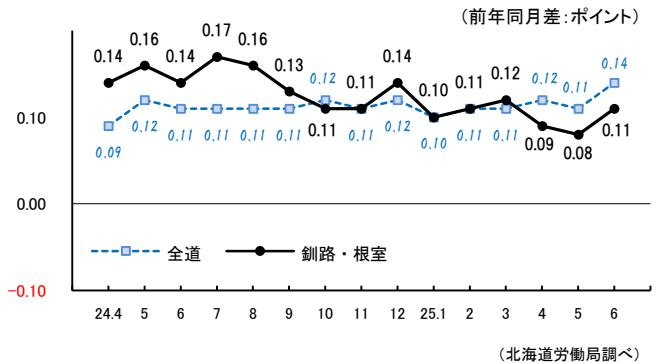
#### ◆企業倒産 (7月)◆

10億円以上の大型倒産は1件発生した



#### ◆有効求人倍率 (6月)◆

43か月連続で前年を上回った





## ■全国の景気

～景気は、着実に持ち直しており、自立的回復に向けた動きもみられる。～

＜内閣府月例経済報告(平成25.8.15)から＞

### 我が国経済の基調判断

- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。設備投資は、おおむね下げ止まっており、一部に持ち直しの動きもみられる。
- ・企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・物価の動向を総合してみると、デフレ状況ではなくなりつつある。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

### 政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「経済財政運営と改革の基本方針」に基づき経済財政運営を進めるとともに、「日本再興戦略」を着実に実施する。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

### 各 論

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、おおむね下げ止まっており、一部に持ち直しの動きもみられる。
- ・住宅建設は、増加している。
- ・公共投資は、堅調に推移している。
- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸入は、横ばいとなっている。貿易・サービス収支の赤字は、減少傾向となっている。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。企業の業況判断は、改善している。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、このところエネルギーを中心に上昇しており、それを除いた基調としては横ばいとなっている。
- ・株価(日経平均株価)は、14,700円台から13,800円台まで下落した。対米ドル円レートは、99円台から97円台まで円高方向へ推移した。

**最近の経済動向**  
平成25年8月号

---

**編集・発行 北海道総合政策部政策局経済調査課**

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>